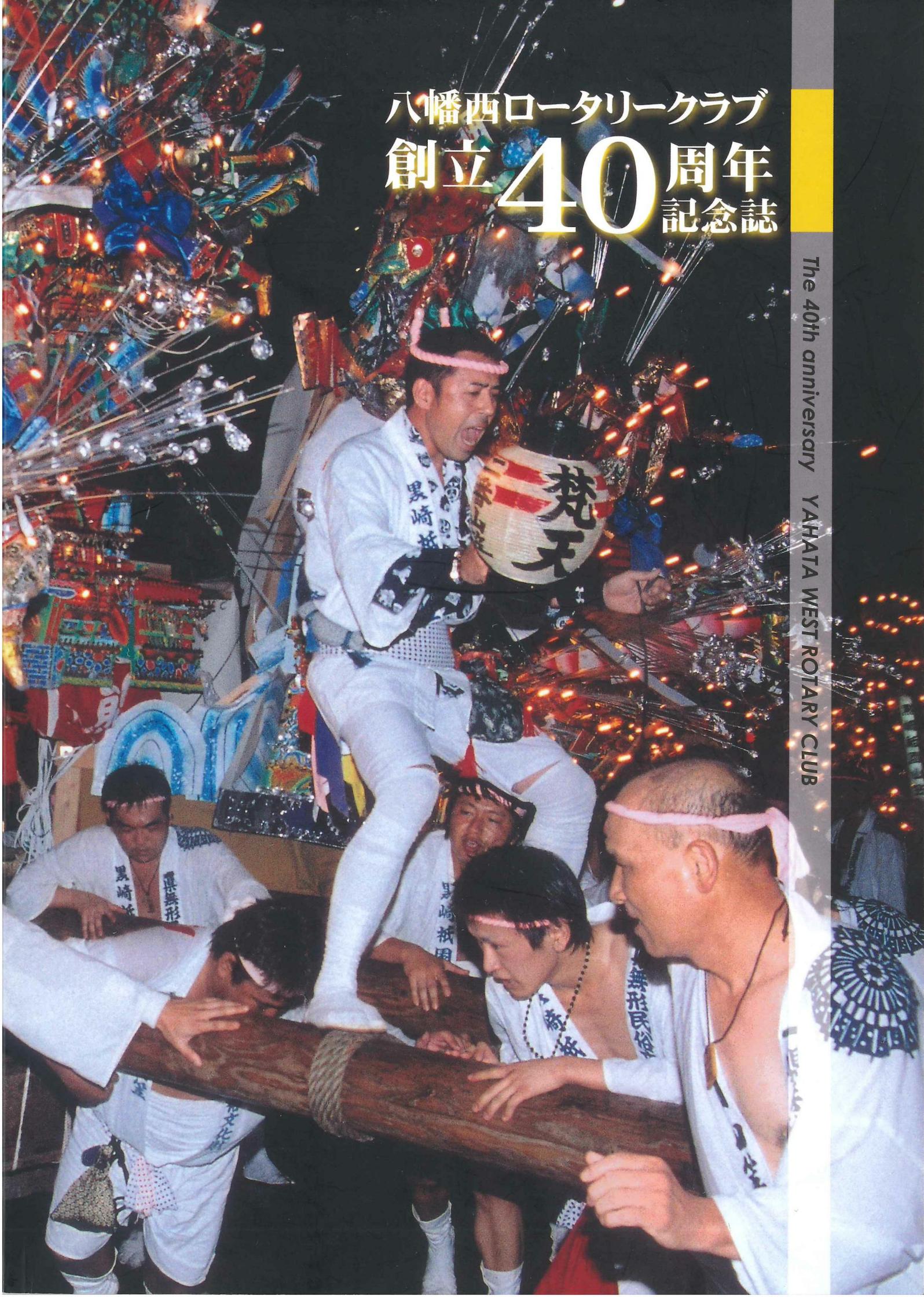


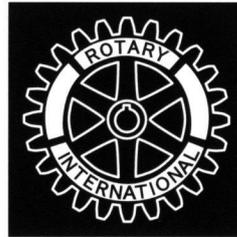
八幡西ロータリークラブ 創立40周年 記念誌

The 40th anniversary
YAHATA WEST ROTARY CLUB



40th

The 40th anniversary
YAHATA WEST
ROTARY CLUB



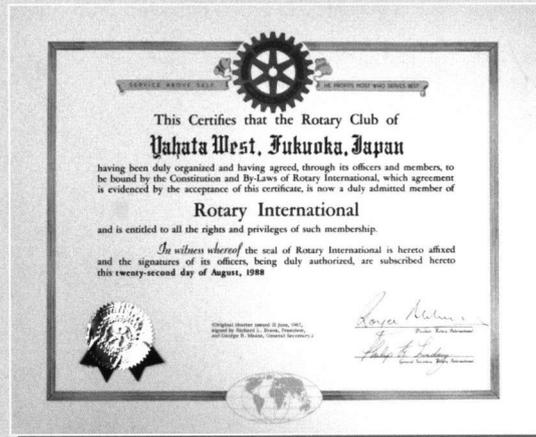
創立40周年 記念誌

八幡西
ロータリークラブ
1967-2007





八幡西ロータリークラブ創立



創立 1967. 6. 2
認証 1967. 6. 21

- ・ 1967年6月2日、八幡西ロータリークラブ発足
スポンサークラブ (Sponsor Club) : 八幡ロータリークラブ
(1956年3月20日創立)
(スポンサークラブよりの移籍者20名、特別代表 花田盛太郎)
チャーターメンバー (Charter Member) : 29名
ガバナー (Governor) : 向笠 広次
- ・ 1967年6月21日、八幡西ロータリークラブ創立 (RI 加盟認証)
- ・ 1967年11月5日、認証状伝達式 (Charter Night) : 34名
(松本兼二郎による記念講演、於 安川体育館)
- ・ 1970年5月20日、遠賀ロータリークラブ設立
スポンサークラブ (Sponsor Club) : 八幡西ロータリークラブ
(スポンサークラブよりの移籍者なし)
- ・ 1977年1月13日、八幡南ロータリークラブ設立
スポンサークラブ (Sponsor Club) : 八幡西ロータリークラブ
(スポンサークラブよりの移籍者16名)
- ・ 1983年9月16日、青山女子高等学校インターアクトクラブ設立
- ・ 2001年5月16日、上記、校名変更に伴い、星琳高等学校インターアクトクラブとなる。

目

次

YAHATA WEST ROTARY CLUB
The 40th anniversary

CONTENTS



創立40周年記念事業	1
座談会	17
創立からのあゆみ	31
同好会	58
クラブの沿革と現況	66
会員名簿 他	72

The 40th anniversary
YAHATA WEST ROTARY CLUB



創立40周年記念事業

会長挨拶	2
祝辞(第2700地区 ガバナー 原田光久)	3
祝辞(北九州市長 北橋健治)	4
40周年実行委員長挨拶	5
40周年記念事業経過報告	5
40周年記念式典 祝宴次第	7
御招待者 ご芳名	8
内祝い会	10
記念事業紹介	12

ごあいさつ



八幡西ロータリークラブ
会長
石島 靖之

本日ここに、八幡西ロータリークラブの創立40周年記念式典を開催するにあたりまして、R I 第2700地区ガバナー 原田光久様、北九州市長 北橋健治様をはじめ、地元各界の方々、ロータリー関係の方々など多数の皆様のご臨席を賜りまして、会員一同心より感謝し、御礼申し上げます。

顧みますと当クラブは、八幡ロータリークラブをスポンサークラブとしまして、1967年6月、29名のチャーターメンバーをもって第2700地区内20番目のクラブとして創立・発足致しました。

以来、先輩の方々はロータリーの精神である奉仕の理想を高く掲げて、クラブ内の充実と拡大を实践され、スポンサークラブとして1969年6月には遠賀ロータリークラブを、そして1977年1月には八幡南ロータリークラブを創立致しました。

また、次世代を担う若人育成のため、1983年9月に青山女子高等学校（現在の星琳高等学校）にインターアクトクラブを創設致しました。

当クラブは、地域社会に密着した奉仕活動としまして、地域内の史跡保存にも努力して参りました。その業績が認められ、1987～88年度に栄えあるR I 会長賞を受賞致しております。

20周年には「万葉歌碑の建立」（八幡西区岡田宮境内）を行ない、30周年にはビデオ「長崎街道夢紀行」を製作して北九州市に寄贈すると共に、国際奉仕の灯を点すため国際協力事業団九州国際センターに「メモリアル・ブック」を寄贈致しました。

これら先輩達の輝かしい歴史を継承し、今回の40周年記念事業では、本市の新政策であります「ビジット インダストリー（賑わいのまちづくり）」推進の一翼を担うべく、「北九州おもてなしの“ゆっくり街道”」名のホームページを製作して、社団法人北九州観光協会など公的機関に寄贈致しました。

また、現在の社会現象となっている悩める子供達と親達について、一言でもお役に立てればと、明星大学教授で感性教育研究所所長であります高橋史朗先生の「親を育てる」の講演会を開催し、大きな反響を呼び起こしました。

これからも会員の親睦を深めながら、先輩会員が築かれた地域社会奉仕の精神を継承し、半世紀の50周年を目指して微力ながら実践していく所存でございます。

今後とも皆様方の暖かいご指導ご鞭撻のほど、切にお願い申し上げます。



祝 辞



RI 第2700地区
ガバナー

原田 光久

ガバナーになることになって、はて、自分はいつからロータリーに…と調べたら、1977年でした。八幡西クラブの創立はそれより10年前ですね。その時のガバナーは向笠広次さんとのこと。向笠さんは、その後国際ロータリーの会長を1982年になさっていますね。向笠さんというと、父のお供で中津のお宅に伺い、相当長い時間いろいろな話をお聞きしたことがあります。

ガバナーになって間もなくの昨年7月29日と翌30日、貴クラブが主催された地区のインターアクト指導者講習会に伺いました。『風船バレー』で半年前に脳出血にかかった中学同期の川口君に会いました。病気になる前は、風船バレーの指導者で、その話をよく聞いていましたが、車椅子に乗って参加していて、この間までのリーダーの風格があり、うれしかったです。

クラブ活動計画書を読み返し、まず思うのは、貴クラブが遠賀・八幡南と2つもクラブを創っておられることです。極めて強い意欲を感じます。また、創立の際の認証状伝達式に松本謙二郎さんが記念講演をなさっているのに気付きました。「安川さんと松本さん…」と子供の頃から聞かされた身には、「近い」感じのする方で、「ロータリーモザイク」という今のRIボイド会長と同じニュージーランド出身のハロルド・トーマスの本が再刊されると聞きましたが、その翻訳を松本さんがなさっていたのだなと思いました。

八幡のいくつかのクラブで、貴クラブは特に私にとってつながりが深い感があります。二人の高校同期生とか、別の同期生の息子さんとか他にもいろいろです。記念誌の準備が早いなあと考えていたら、あっと地区米山委員会でご一緒した方のお顔を思い出しました。自分のことばかりで恐縮ですが、祝辞とさせていただきます。どうもおめでとうございます。

祝 辞



北九州市長
北橋 健治

八幡西ロータリークラブが創立40周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。歴代会長をはじめ役員、会員の皆様のたゆみない活動の積み重ねに、深く敬意を表します。

八幡西ロータリークラブは、昭和42年の設立以来、崇高なロータリー精神に基づき、社会福祉の向上や青少年の健全育成、国際交流の推進など、時代の変化に即応した活動を実践してこられました。

特に、史跡保存委員会による地域の史跡保存や、長崎街道の史跡を紹介するビデオ「長崎街道夢紀行」を制作し、市内の学校や施設に寄贈するなどの活動に取り組んでこられました。

また、今年は40周年記念事業として「北九州風景街道」のホームページを制作され、北九州市の美しい風景や文化・歴史を紹介していただいております。このような地域に根ざした心のこもった奉仕活動は、本市にとりましても非常に大きな力となっております。深く感謝申し上げます。

北九州市では、青少年の健全育成や高齢者対策、環境などのさまざまな分野で地域に根ざした施策を推進し、皆様と共に地域を支えていくよう取り組んでいます。また、去年は、新しい北九州空港が完成し、空港までのアクセスとなる東九州自動車道が開通するなど、北九州市の将来の発展を担う都市基盤の整備がほぼ完了しました。今後は、子育て支援や教育、福祉、環境に重点を置いた「人にやさしく元気なまち」＝「ハートフルなまち」づくりを進めてまいります。

こうした施策をさらに広めていくためには、地域のオピニオンリーダーとして活躍されている皆様のお力添えが不可欠です。八幡西ロータリークラブの皆様には、これまでに築き上げられた伝統の上に立って、今後ともさらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

八幡西ロータリークラブの今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈りして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ



創立40周年記念事業
実行委員長

井上 俊司

本日、八幡西RCの40周年記念式典の日を迎えることができましたことは、慶びに堪えませ
ん。1967年クラブ創立以来、多くの先輩の尊い奉仕の精神と努力に対し、心からなる敬意と感
謝の念を捧げますとともに、我々現在の会員もこのすばらしい八幡西RCの伝統を将来に引き
継ぐべく、創立40周年記念事業を企画立案して参りました。このたび、世間で最も関心をもた
れている教育問題について、明星大学教授 高橋史朗氏の「親を育てる」という講演会開催、
八幡東西区史跡・観光ホームページ 日本風景街道(北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”)
制作と北九州観光協会への寄贈という二大事業を成功させることができましたことで、ささや
かながらも地域社会に貢献できたのではないかと自負しております。また、記念事業邁進に向
けて会員の気持ちの一つにして活動の原動力となった内祝い会、40年間のクラブの活動の総括
と記録を後世に残すために必要不可欠であった記念誌発行と、全ての会員が参加協力して今回
の40周年記念事業が達成されましたことをお祝いしますとともに、皆様に感謝申し上げたいと
思います。

◆ 40周年記念事業経過報告 ◆

○ 準備委員会

設 立 平成17年 3月25日

委員構成 (末吉会長より委嘱)

石島 靖之 伊豆統一郎 井上 俊司 江戸 達也 小嶋 一碩

是此田 穰 菅原 康夫 中村 一生 藤原 浩芳

第1回準備委員会 平成17年 4月15日

40周年記念事業決定までの作業過程の確認と予算について

I.D.Mを行ない会員全員の総意を確認すること

I.D.M及びアンケートで会員の意見を集約

第2回準備委員会 平成17年 7月1日

式典・祝賀会の開催、40周年記念誌刊行の決定

記念事業については賛否両論あったが、40周年に在籍してクラブの奉仕活動に参加したと
いう共感を得たいという若い会員の熱意が強く、記念事業推進を決定。

史跡保存に関すると思われる事業8件、社会奉仕に関すると思われる事業6件、国際奉仕
に関すると思われる事業9件、クラブ奉仕・職業奉仕・青少年奉仕に関すると思われる事業
8件のアンケート結果より3～4件に絞り、ワーキンググループを作って事業内容を検討する。

ワーキンググループ

委員長：小嶋一碩、委員：波多野正信、正木文久、赤田隆一、菅原康夫、属 将之

第3回準備委員会 平成17年8月19日

ワーキンググループの報告

史跡保存に関する記念事業3案のうち、八幡東西区史跡・観光ホームページを推奨。

クラブフォーラム 平成17年10月14日

ワーキンググループの案を含め、記念事業5案をクラブ会員全員で検討。

第4回準備委員会 平成17年10月28日

40周年記念事業の決定

内祝い会の実施

式典・祝賀会の開催 日時 平成19年1月～6月の間

記念誌の発行

八幡東西区の史跡・旧跡・名所を中心にした観光スポットや見所を満載したホームページの制作

講演会を企画する 時期、内容は実行委員会にて検討する

実行委員会構成の検討

○実行委員会

発 足 平成17年12月2日

委員構成 (佐藤会長より委嘱)

井上 俊司 石島 靖之 中村 一生 伊豆統一郎 是此田 穰
藤原 浩芳 小嶋 一碩 菅原 康夫 江戸 達也

第1回実行委員会 平成18年1月20日

スケジュール、委員会構成案の検討

式典・祝賀会の日時の決定 平成19年5月19日(土)

第2回実行委員会 平成18年1月26日

実行委員会構成表の作成

平成18年2月3日、理事会にて承認

第3回実行委員会 平成18年2月16日

予算等の作成

以後、内祝い委員会、ホームページ委員会、記念誌委員会、講演会委員会、式典・祝賀会委員会に分れて活動

第4回実行委員会 平成19年1月12日

ホームページ中間報告及び今後の進め方についての検討

第5回実行委員会 平成19年2月2日

総務委員会にて式典についての協議

第6回実行委員会 平成19年2月16日

内祝い会の最終打ち合わせ

第7回実行委員会 平成19年3月9日

講演会最終打ち合わせ

第8回実行委員会 平成19年3月23日

ホームページ委員会、記念誌委員会、式典・祝賀会委員会最終打ち合わせ

○実施状況

内祝い会 脇田温泉『ホテル楠水閣』家族同伴 平成19年2月17日

講演会 高橋史朗教授講演会『親を育てる』 平成19年3月10日

八幡東西区史跡・観光ホームページ

日本風景街道(北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”)贈呈式 平成19年5月19日

記念式典及び祝賀会 平成19年5月19日

40周年記念誌



八幡西ロータリークラブ

● 創立40周年記念式典次第 ●

*日 時 平成19年 5月19日(土) 17:30
*場 所 千草ホテル 2階 光琳の間

	司 会 波多野正信
1. 開 会 点 鐘 (17:30)	会 長 石島 靖之
2. 開 会 の 辞	実行委員長 井上 俊司
3. 国 歌 斉 唱	ソングリーダー 斉藤 利美
4. ローターソング “奉仕の理想”	斉藤 利美
5. 来 賓 紹 介	会 長 石島 靖之
6. 物 故 会 員 追悼	S A A 波多野正信
7. 会 長 挨 拶	会 長 石島 靖之
8. 来 賓 祝 辞	北九州市長 北橋 健治
	RI 第2700地区ガバナー 原田 光久
9. 記 念 事 業 北九州風景街道ホームページ 贈呈	会 長 石島 靖之
10. 祝 電 披 露	S A A 波多野正信
11. 閉 会 の 辞	副会長 大林 清幸
12. 閉 会 点 鐘 (18:10)	会 長 石島 靖之

…………… (休 憩) ……………

● 祝 宴 次 第 ●

司 会 野口 和博

(18:30)

1. 祝 儀 舞 (観世流) 「鶴亀」	井上 俊司
2. 写真で振り返る八幡西ロータリークラブの10年	
3. 乾 杯	
4. 合 唱	八幡西ロータリークラブ会員
5. エアロビックス	九州共立大学
6. バンド演奏	八幡西ロータリークラブおやじバンド
7. 閉宴のことば (20:30)	大林 清幸

● 御 来 賓 ●

北九州市長		北 橋 健 治
八幡東区長		奥 竹 繁
八幡西区長		南 政 昭
社団法人 北九州市観光協会	会 長	今 浪 寅 雄
国際協力事業団 九州国際センター	所 長	笠 原 秀 昭
財団法人 北九州国際技術協力協会	理事長	河 野 拓 夫
国際ソロプチミスト北九州西	会 長	力 丸 美智子
社団法人 北九州青年会議所	理事長	中 柴 崇
社団法人 北九州青年経営者会議	会 長	樋 熊 靖 隆
学校法人 星琳高等学校	理事長	加 藤 晴 三
〃	学校長	野 坂 公 昭
特定非営利活動法人 シニアネット北九州	理事長	田 鍋 晴 久

● ローターリー来賓 ●

国際ロータリー第2700地区	ガバナー	原 田 光 久
	パストガバナー	廣 畑 富 雄 (福岡西RC)
	〃	菅 正 明 (戸畑東RC)
	〃	高 本 精 之 (小倉東RC)
	ガバナー補佐	阿 部 茂 生 (八幡南RC)
創立当初の八幡RC在籍者		入 江 伸 明
八幡南RCへの移籍者		小 野 晃
〃		菅 原 了
八幡ロータリークラブ	会 長	田 中 定 雄
八幡中央ロータリークラブ	会 長	田 坂 嘉 男
八幡南ロータリークラブ	会 長	増 田 仰
遠賀ロータリークラブ	会 長	中 村 光 雄
直方ロータリークラブ	会 長	金 子 正 人
直方中央ロータリークラブ	会 長	成 清 誠
飯塚ロータリークラブ	会 長	角 田 信 昭
学校法人 星琳高等学校	インターアクトクラブ顧問教師	川 端 利 則
〃	インターアクター 会 長	原 嘉 博



2006～2007年度 創立40周年記念実行委員会構成

会 長 石 島 靖 之
幹 事 赤 田 隆 一
実行委員長 井 上 俊 司

委員会	委員長	副委員長	委 員
総 務	伊豆統一郎 中村 一生	安武 真哉	大林清幸、佐藤 進、田仲一雅
内祝い会	伊豆統一郎	波多野正信	安東秀夫、池田勝久、齊藤利美、舟木義治、 松永 等、溝上米吉、吉田総次郎
ホームページ	小嶋 一碩	正木 文久	赤田隆一、属 将之、中山一徳、波多野正信、 村上俊明、安武真哉
講演会・討論会	菅原 康夫	岩崎 員久	岸野 玲、属 将之、福原弘之、正木文久、 村山大成
記 念 誌	藤原 浩芳	藤村 克成	伊豆統一郎、岩崎員久、小田敬介、菅本国博、 浜崎 靖
式 典	江戸 達也	末吉 楠雄	荒井俊勝、諫山了二、太田信博、緒方 忠、 高嶋雅樹、望月康治、会場監督各位
祝 宴	菅原 康夫	稲富 靖彦	坂本敏弘、野口和博、森 肇、湯野英輔、 富田 稔、松尾和典、阿部竜哉、 親睦活動委員会各位
来 賓			猪狩功司、菊池 裕、小嶋一碩
夫 人			属 将之、福原勝巳
インターアクト			乙木信介、小田敬介、村山大成、吉田総次郎、 新世代奉仕委員会各位
写 真			伊豆統一郎、神尾栄一、佐藤信茂
会 計	是此田 穰		
会計監査	神尾 栄一		

内祝 い会

と き 平成19年 2月17日(土)
と ころ 脇田温泉 ホテル楠水閣



内祝い会委員会
委員長 伊豆統一郎

創立40周年記念行事として内祝い会が出来ましたこと嬉しく思います。
会員と家族だけでの内輪で祝い楽しみ友情を深めました。
内祝い会は30周年に続き2回目ですが、他クラブに見られない面白い企画かと思えます。
井上実行委員長のあいさつに続き、事務局の村上さんの表彰、そして乾杯のあとよいよ本番。
斉藤会員の指揮による合唱団の見事な歌声、荒井バンドの熱演に喝采の嵐。全員参加の京都祇園仕込みの「トラ、トラ」。芸者と舞妓に驚きの声、大変盛り上がりました。会員歴36年の村上会員曰く「こんなに明るい楽しい会は初めて」と詩吟を披露されました。
内祝い会が、40周年記念式典のための団結とエネルギーの源になることを期待した私の乾杯のあいさつの目的は達せられたと思います。進行の波多野会員、そして内祝い会の皆さんの協力有難うございました。



石島会長挨拶



井上実行委員長挨拶



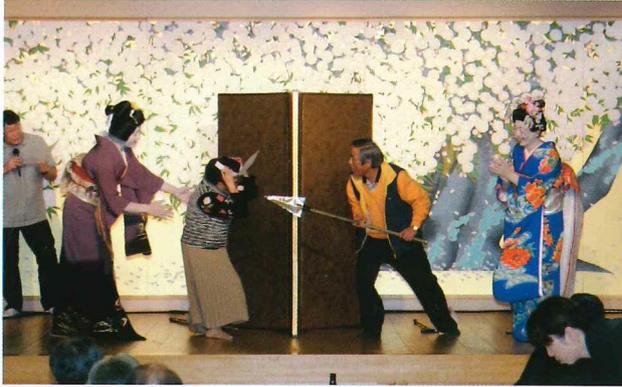
事務局 村上さん、表彰



詩吟を披露される村上会員



合唱団の素晴らしい歌声



記念事業紹介

ホームページ 作成



ホームページ委員会
委員長 小嶋 一碩

当クラブでは創立以来、地域に根ざした奉仕活動の一環として、史跡保存委員会による地域の史跡保存や、創立30周年の記念事業として長崎街道の史跡等を紹介するビデオ『長崎街道夢紀行』を制作し、市内の学校や施設などの諸団体に寄贈するなどの活動を行ってまいりました。

そして今期、創立40周年を迎えるに当たり、これまでの地域社会への奉仕の意思を継承し、また北九州市の新しい政策でもある「ビジット・インダストリー（にぎわいのまちづくり）」推進の一翼を担うべく記念事業として、『北九州風景街道』ホームページを制作致しました。この『北九州風景街道』は、国土交通省が昨年より全国で展開している「日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）」整備事業として北九州市が取り組んでいるもので、北九州市内の「長崎街道」、「門司往還」及び「門司港レトロ地区」を中心に、「北九州の豊かな自然と美しい風景を街道でつなぎ、将来に継承する取組み」を構築していくことを基本コンセプトとして進められている事業です。

『北九州風景街道』ホームページは、このコンセプトに基づき「北九州の豊かな自然・風景・歴史・文化を『街道』軸として表現し、『訪れる人』と『迎える地域』の情報交流の推進を図る」ことをテーマとして制作されています。サイト内には、街道沿いの「神社・仏閣」、「史跡」、「近代化遺産」、「屋外彫刻」等々の情報が集められているだけでなく、「長崎街道夢紀行」ビデオの内容も、随所に動画として見る事が出来るように作られています。このホームページの情報を通じて、北九州の美しい風景やこの地域の文化や歴史に触れて頂くことで、一人でも多くの方に新しい感動を伝えることが出来ればと願っています。

当クラブの創立40周年記念事業として制作致しましたこのホームページは、「社団法人北九州市観光協会」へ寄贈させていただきます。

最後になりましたが、ホームページ制作に当たり多大なるご協力を賜りました行政各部署、「北九州市観光協会」の皆様、そして「NPO法人シニアネット北九州」のメンバーの方々に、厚く御礼申し上げます。



社団法人北九州市観光協会 会長 今浪寅雄氏
八幡西RC 会長 石島靖之

贈呈式

平成19年3月26日、北九州風景街道
ホームページの目録を、社団法人北
九州市観光協会へ贈呈致しました。



北九州市の豊かな自然と、美しい風景をゆっくり楽しみながら、
地域の文化や歴史発見の旅に出かけてみませんか！



東田第一高炉史跡



立場茶屋銀杏屋



曲里の松並木

記念事業紹介

講演会

平成19年3月10日(土)



記念講演委員会
委員長 菅原 康夫

創立40周年記念講演会は、500名近くの参加をいただき、盛況のうちに行なわれました。

石島会長より、地域社会にお役に立てばと企画し、テーマを今日話題の教育を取り上げ、教育問題のご専門の高橋教授をお招きしたとのご挨拶がありました。数多くの現場を見つめての高橋教授の講演は、参加者に深い感銘を与え、問題を提起したものと思います。

子供を取り巻く環境の荒廃は、学校が悪い教育委員会が悪いというのではなく、責任の80%は家庭にある。家庭の教育で芽を出し、学校の教育で花が咲き、社会の教育で実をつけるのです。

家庭での親の教育の必要性を力強く訴えられました。親は人生最初の教師であります。教育の基本はルールを守らせることであり、親は「心施」をもって子供にコピズ、ルールを守らせるという「親学」をすすめられました。「しっかり抱いて下に降ろして歩かせる」と愛着から分離、そして自立の流れを事例を上げて説明されました。親と子のあり方について分かりやすく丁寧に話され、500名近くの皆様に共感を与えたものと思います。「本気で叱ることがなく逃げているんだ」「親学は日本の将来のために皆が取り上げる問題だ」という声が聞えてきました。

井上実行委員長より高橋教授のご活躍を期待するとの御礼の謝辞を申し上げました。九州共立大学及び関係者の皆さんに御礼を申し上げます。

テ ー マ 「親を育てる」

基調講演 高 橋 史 朗 (明星大学教授 感性教育研究所所長)

開 催 日 平成19年3月10日(土) 13:00~15:00 (受付開始12:30)

定 員 600名

対 象 父母、教師、生徒(中学生以上)、教育関係者、教育全般に興味のある方

会 場 九州共立大学 多目的ホール(北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8)

会 費 無 料

主 催 八幡西ロータリークラブ 40周年実行委員会

お申込み先 八幡西ロータリークラブ事務局
TEL 093-681-0694 FAX 093-681-0984

後 援 北九州市教育委員会、(社)北九州青年会議所、
(社)北九州青年経営者会議



高橋 史朗
(たかはし しろう)

現職 明星大学教授
感性教育研究所所長
経歴 1950年、兵庫県龍野市生まれ。
早稲田大学大学院修了後、スタン
フォード大学フーバー研究所客員研
究員。



八幡西RC 石島会長 挨拶





八幡西RC クラブ旗



八幡西RC バナー

The 40th anniversary
YAHATA WEST ROTARY CLUB



創立40周年記念 座談会 40周年を迎えて

2006年9月29日
於 千草ホテル

出席者 荒井俊勝、岩崎員久、江戸達也、波多野正信、
吉田総次郎 (50音順)
司 会 藤村克成
記 録 正木文久



【司 会】 本日は、お忙しい中を座談会の為に
お集まり頂きまして有難うございます。

当クラブでは40周年記念事業の一環として、
記念誌を発行しますが、その中で座談会を企画
しました。石島会長は、本年度の活動方針の中
で、「今期は40周年という大きな節目を迎える
年となりますので、先輩方が歩んでこられた奉
仕の道を学び、更に未来へとつないでいく重さ
をかみしめながら活動していきたい」と述べて
おられます。これは会員の共通認識ではないか
と思います。その思いを大切にこの座談会
を進めていきたいと思ひます。宜しくお願ひし
ます。

本日も出席頂きました5名の皆様は、若くし
て幹事を経験なさり、その後も各委員会でご活
躍中の方々でございます。そのご経験を紐解き
ながらお話を伺っていきたくと思ひますので、
大いに語って頂きたいと思ひます。

それでは先ず最初に、入会当時を振り返りま
して、入会の動機あるいは入会前にロータリー
に持っていたイメージと、実際に入会した後に
受けた印象にギャップがなかったかどうか、あ
るいは印象に残ったこと等をお話頂ければと思
ひます。

先ずは、若くして入会なさった波多野さんか
らお願いします。

● 入会当時を振り返って

【波多野】 私は27歳の時に入会しました。女房
との付き合いよりも古いです。入会当時は、
なぜJCではなくてロータリーなの？と聞かれ
たこともありました。当時は、JCであるとか、
RCであるとかライオンズクラブであるとか全
く意識はありませんでした。地元に戻って来て
2年目位だったと思ひますが、父から「今度の
金曜日に千草ホテルに行きなさい」と言われて、

当時から大変お世話になっていました、明和工
業の阿部さんが紹介者ということで、何のこ
とか分からずに、とにかく阿部さんと一緒に来た
記憶があります。20年以上前のことなのでは
っきりとは覚えていませんが、年齢のギャップを
感じたことは覚えています。その後、私が35、
36歳になるまでの10年近くは、当クラブで私
が一番若かったと思ひます。ただ、若いからこ
の場に居づらいつことは全くなくて、何と
なく心地良く例会に参加させて頂いていま
した。始めの内は、例会に出席して食事をして帰
りだけだったのですが、その内に若い方も入会
して来るようになって、次第にゴルフ等遊びも
一緒にするようになり、例会後には喫茶室で
コーヒーを飲んでおしゃべりをしたりするよ
うになりました。ロータリーの人達とは友達
として楽しくお付き合いをさせて頂いていま
す。

【司 会】 波多野さんは27歳で入会なさ
っているんですね。続いて、荒井さんお願ひ
します。

【荒 井】 私は31歳の時に入会しました。入
会前のロータリーのイメージは、堅苦しいとい
うものでした。紹介者は伊東さんでした。父と
同年代の方で、ただ「入れ！」と言われて、内
容も分からずに入会したのですが、入会して
周囲の皆さんがおっしゃるのは、「昔はこんな
雰囲気じゃあなかった。上下関係が厳しくて
若い人は居づらかつた」ということでした。
私はどういふ環境であれ、すぐに溶け込める
性格なのでどういふことはありませんでした。

当時、私はJCの入会のお誘いを強く受けて
いましたが、頑なに断りしてしまつた。とい
うのは、JCは飲みごとばかりと聞いており、
当時の私はお酒が飲めなかつたものだから
入会したくなかつたんです。でも、ロータ
リーに入つてお酒を飲めるようになつた(笑)。
先輩方には可愛がって頂きました。



藤村 克成君

【司 会】 波多野さんも荒井さんもロータリーにはスムーズに馴染んだようですね。ところで、当時はインフォメーションはありましたか？

【荒 井】 ありました。インフォメーションに関連しておかしかったことは、例会欠席の際の「メーカーキャップ」です。「メーカーキャップ」という言葉の意味が、職場であまり知られていなかったもので、私が職場の連絡ボードに“メーカーキャップ”と書くと、社長はオカマになったのではと勘ぐられまして…。

【司 会】 江戸さんは、当時を振り返っていかがですか。

【江 戸】 入会当時の思い出は薄れつつありますが、当時の例会の雰囲気が今と違って、例会にあまり出て行きたくなかったことを覚えています。そんな私の気持ちを察して下さったのでしょうか、父親と同年代の方達に背中を押して頂いて出席していました。戸畑で行なわれた観月会の時に肩をポンとたたいて頂いたこともあります。人の心を察して下さる先輩方が沢山いらっしゃいました。入会して2、3年は辛抱の日々でした。皆さん、入会当初は辞めたいとか、イメージと違ったと思うのですが、私は、入った以上は自分でけじめをつけなければと思っていました。イヤだから辞めるとか、面白くないから辞めるということだけはするまいと心に決めていました。

その内に若い人が増えてきて、例会の雰囲気に自分が同化出来るようになったと思います。そうこうする内に、いろんなことを体験出来るようになりました。時には喧嘩もしましたが、良い意味でロータリーは「学校」です。今でも吉田君から苦言をもらうこともあります。これも有難いと思っています。こういう人がいてくれて有難いですね。

私が新入会員の方に伝えたいのは、瞬時の判断で結論を出すのではなく、腰を据えて物事を考えることということです。自分を同化させることが出来れば、自然に自分を見つめることが出来、少しずつでも自分も成長出来ると確信しています。

【司 会】 なるほど、それが今日の素晴らしい人格形成の礎になっているのですね。次に岩崎さんお願いします。岩崎さんはお父さんと親子2代の会員ですね。

【岩 崎】 今日の参加者の中では私が一番年数が浅く、入会して10年です。38歳の時に入会しました。おっしゃるように父もロータリアンでした。父は現会員の稲富さんの紹介者でもあります。その稲富さんとは入会以前からお付き合いがありました。そんなある日、突然稲富さんから「今日10時に会社に行くから」と言われました。それがインフォメーションでした。3人でお見えになったと思います。そして、「今日の12時30分に千草ホテルに来なさい」と言われてそのまま入会です。当時は30周年の前年でした。入会すると早速内祝い会のチームに入れと言われて、何がなんだか分からずに、気がついたら荒井さん、稲富さん、吉田さんと内祝い会の舞台上で安木節を踊っていました。これが良かったようで、舞台上で踊ることで皆さんにすぐに覚えて頂きました。それからは、例会に出席すると皆さんから声をかけて頂き、砂をかむような味気ないことは一切なかったです。毎週金曜日が待ち遠しいです。私は気が弱くて断ることが出来ず、正規の役職以外にもいろんな役をしています。大変うれしいですね。楽しくお世話させて頂いています。ゴルフ会のお世話もさせて頂いています。その中で唯一納得がいかないのは、江戸さんとは以前はスクラッチでゴルフを競っていたのが、今では雲の上の人に

なってしまったことです。歯がゆいです。

【司 会】 いつも行き届いたお世話をして下さる岩崎さんです。素直に当然のごとく馴染んでいらっしゃる。次に、吉田さんお願いします。吉田さんは、常日頃からロータリーに入会して仕事に対する考え方が変わったとおっしゃっていますが。

【吉 田】 私は入会して15年です。忘れもしません。入会前に、徳永さんからインフォメーションを千草ホテルでするので来るように言われてロビーで待ちました。当時はロータリーのことは全く分かりませんでした。インフォメーション担当は八木下さんでした。地域を代表する企業としてヤギシタハムを存じ上げていましたので、お忙しいのだろう、と待ち続けましたが、1時間経ってもおいでにならないのでおかしいと思い電話したところ、どうも連絡の行き違いがあったようで、その後しばらくして八木下さんがお見えになりインフォメーションが行なわれました。

入会当初は緊張の連続で、砂をかむようなロータリーライフで、続ける自信がありませんでした。でも辞めるわけにもいかず…ある日、例会後にコーヒーに誘われていろんな話をして次第に慣れていきました。

私は性格が単純で、頑固で人のことを気にしないという性格で、この性格ゆえに不評を買うこともありますし、バカヤローと言われもしましたが、次に会った時には何もなかったように付き合って頂ける。

先輩諸氏の皆さんの真摯な姿勢を拝見して感銘を受け、協力出来ることは積極的にやろうと思っています。仕事や家庭の場面でどうあるべきかということもロータリーで教えて頂きました。

● 幹事の時代

【司 会】 皆さん、入会当時はスムーズに馴染んだ方もいらっしゃれば、砂をかむような時期を経験なさった方もいらっしゃるようですね。いずれの方も、その後は交流の中でロータリーライフを満喫しているようです。

皆さんは幹事経験者ですが、幹事の事はクラブの柱となって、定期、不定期の様々なものがあります。幹事の活動はクラブへの影響が大きいです。幹事就任の時の印象や、幹事時代のご苦労についてお話下さい。先ず波多野さん、お願いします。

【波多野】 幹事時代は入会3年目だったと思います。会長は土岐(弘毅)さんでした。当時の当クラブの顔であり、紹介者であった阿部さんからご指名を受けて、訳も分からずに引き受けました。土岐さんの性格はきっちりしていました。会長の時間のお話もノートにとどめておいて、それを週報担当者に渡していました。私は対称的にルーズでした。幹事の仕事で大変だったのは、役員や理事の選任の時だったのでしょうか。一番印象に残っているのは、IMを八幡の労働会館で開催した時のことです。八幡西ホスト、八幡南コ・ホストでしたが、それはもう皆さん多士済々の方々でしたので、その調整が大変でした。

【司 会】 お若かったのが、折衝は大変だったとは思いますが、波多野さんのその機転の利く素晴らしい性格で物事を上手く処理なさったのだらうと思います。

荒井さんは入会4年目で、舟木会長の時に幹事をなさったのではないのでしょうか。

【荒 井】 私は、幹事就任前に副幹事を1年間



荒井 俊勝君

経験しました。舟木・石田のお二人が若松ゴルフクラブで話をしている、「荒井くん、副幹事だよ」と言われました。私が幹事の際は、副委員長という制度がなく、地区大会では数人の委員長が欠席した為、私が3人位代理出席をしました。

舟木会長とは、1年間で1回だけはお互いに例会欠席を認めようとお話していましたが、私は幹事就任後2週目か3週目の例会を欠席しました。高校の友達が不治の病で、見舞いに北海道に行く為だったのですが、そのことをご存じない舟木さんに叱られました。

私は幹事の仕事そのものはさほど辛いとは思いませんでした。ただ、今とは仕組みが異なっていて、幹事の引継ぎを受ける時に「幹事は事務屋だよ。この書類一切を自分の事務所に持ち帰るんですよ」と言われた時に、「出来ません」と答えたことを覚えています。

【司会】 副幹事というのは一つのアイデアですね。江戸さんは菅本会長の時の幹事をなさっていますね。

【江戸】 今から8年前の入会9年目に菅本会長の幹事をお引受しました。当時私は菅本さんの顔と名前が一致しませんでした。菅本さんには2回程お断りしたのですが、3度目に「私は(あなたと同じ)八幡中央高校出身なんです」と言われました。それまで菅本さんとは全くと言っていい程接点がありませんでしたが、高校の先輩ということでお引受することになりました。私は書くことや読むことが嫌いですが、それでもいいですかとお話しました。又、私は人から指示されることが嫌いですが、それでもいいですかとも聞きました。

菅本さんとコンビを組んでみると、菅本さんは、イメージと全く違う方だということが分かりました。菅本さんは自分流を貫き通す人で、

良いお手本でした。負の事象が生じた時に、自分は自分以外の何者でもない、背伸びをしないということを教えてもらいました。

幹事時代には辛いことやイヤなことは特にありませんでした。

私は世話好きなので、ゴルフ会の幹事等いろいろと進んでしますが、他の方がお世話係をして下さっている時は、皆さん一生懸命に下さっているのですから、決してケチをつけまいと心に決めています。

【司会】 1年間会長の下で仕事をなさること、その人間性なり自分を磨くことが出来るのでしょうか。

岩崎さんの場合は、岩崎さんのスポンサーでもある稲富さんが会長の時の幹事だったと思いますが、稲富さんが会長の時には、会費の値上げや国際大会等、重要事項がいろいろとありましたね。

【岩崎】 入会8年目に幹事をしました。稲富さんから幹事をやってくれと言われたのは、稲富さんが副会長に選出された時でした。だから就任1年半前でした。稲富さんが副会長の時に、他に誰も幹事候補がいなければ引き受けますと言いましたが、心の準備は出来ていました。

幹事の仕事は大変でしょうと言われるますが、自分はそんなに大変とは感じませんでした。ただ、司会の藤村さんがおっしゃられたように、会費値上げについては理事会での協議を何度も行ないました。稲富さんが「俺一人が悪者になればいいのだから」と言っていました。その時改めて惚れましたね。

稲富さんは会長の時49歳、私も40歳代。当クラブで会長・幹事の二人とも40歳代というのは初めてではなかったのではないのでしょうか。二人が顔を合わすと「大丈夫かな」「1年間とにかく耐えよう」と話し合っていました。考え

ていたわりにはスムーズでした。

先程、荒井さんが幹事の時のクラブ協議会では欠席する委員長が何人かいらっしゃったということでしたが、私の時には全委員長が出席してくれました。大阪での国際大会にも多数参加して頂きました。会員の皆さんが協力して下さったので、苦勞らしい苦勞もなく1年が過ぎたようです。幹事を経験したことでロータリーのことを少し理解出来たような気がします。

【司 会】 会長と幹事が40歳代という若いコンビでしたが、会員の多くの協力を得たということではありますが、当クラブの良い面が出たということでしょうか。

吉田さんが幹事の時は、末吉会長の下、チャリティ落語会等がありましたね。

【吉 田】 先ず、稲富・岩崎の後を受けて末吉会長と船出しました。末吉さんは、就任直後に「稲富さん有難うね」と言っていました。

私が幹事の時は、ロータリー100周年ということで、会員の皆さんの拠出金負担が多かったですね。

私が幹事の時は、江戸さんが副幹事をしてくれましたので、とても安心して幹事の仕事を出来ました。

末吉さんは配慮がある方でした。振り返ってみると、言葉数は少ないのですが、胸襟を開いて一緒に仕事をやろうと態度で示してくれました。これは、私自身の仕事に大いに参考になりました。感謝しています。

R I から100周年記念として、ロータリー財団へ1人100ドル、ポリオプラス基金50ドル、計150ドルの寄付の要請がありました。会員全員から集めれば簡単なことなのですが、末吉会長はみんなで汗を流して集めようと考えられたんですね。でも多くを語らない。「柳亭燕路が来るぞ」「何をするんですか」「落語タイ」こん

な調子で、チャリティ落語会の話が進んでいきました。お陰で、100周年で何をやったかと問われれば、私は胸を張って言える良い思い出を作ってもらいました。私はラッキーな幹事でした。

● ロータリーの魅力について

【司 会】 5人の皆さんは全員能力があるのだと感心しました。1年間の幹事役は大変と思いますが、皆さんは会長との強い絆を作り、幹事をして良かったとおっしゃっている。今後幹事を要請された場合は、進んで引き受けて頂きたいと思います。

次に、幹事時代の思い出の中でも出ていましたが、ロータリーの魅力等を話して頂きたいと思います。

【荒 井】 ロータリーの魅力ですか。一世代二世代と世代の違う会社のトップの方々には色々なことを教えて頂けるということを挙げたいですね。

同業種では話すことが出来ない、話したくても出来ないことを、1業種1社という取り決めがあったので、損得抜きで何でも教えてもらうことが出来ました。私は小売業を営んでいますが、小売関係のトップの方が少なくなってきたのが少し残念ですし、そういう意味では私にとってはロータリーの魅力が減っていると思います。

特に、伊東さんからは人生や仕事について色々教えて頂きました。

【司 会】 荒井さんからロータリーが人生に与える影響の大きさのお話が出ましたが、岩崎さんはどのようにお感じですか。



岩崎 員久君

【岩 崎】 そうですね。いろんな業種、いろんな世代の方と知り合いになることが出来るということが魅力でしょうか。私はこれまでに台湾、韓国の人について米山奨学制度のカウンセラーを2回しましたが、台湾は弟のような人、韓国は大学助教授でした。普通は知り合いになれないような人と知り合いになり、お付き合いが出来る。これが魅力です。

懇意にしているある地区の会長に、卓話に来てもらいたいと誘われていますが、そちらの例会が金曜日なので、調整をして訪問したいと思っています。

【司 会】 良いお話ですね。是非卓話に行って頂きたいと思います。

私が週報担当だった時、韓国の曹(じょ)さんから原稿を貰う時、岩崎さんへの曹さんの信頼感を強く感じる事が出来ました。

吉田さんは、ロータリーの良さについて日頃からよく話されていますが、いかがですか。

【吉 田】 私は友達に恵まれました。私の周囲の方々は皆さん good will なんですね。私もそうありたいと思っていますが、そういう方達と胸襟を開いて話が出来ると。これが魅力だと思います。

【司 会】 次に、リーダーシップがあり、熱血漢である江戸さんをお願いします。江戸さんは多少毒舌家の面がありますがいかがでしょうか。

【江 戸】 私はそんなに口が悪いですか(笑)。

私は幼稚園の頃、プールで泳ぐことが出来ず、皆と同化出来ませんでした。その頃、玄関先で親父がキャッチボールをしようと言う。7メートル先から父が準硬式ボールを全力で投げて、それを捕れと言うんです。逃げて顔に当たって痛いんだけど、親父は「目を開けろ！」と

言って全力で投げってくるんです。そんなことが4、5日続いたと思います。お陰で、どんな時にも目を開けて物事をしっかり見て積極的に接するという事を教えられたと思います。

昔、当クラブには80人位会員がいましたが、最近名簿を眺めてみると、自分は在籍期間20番目位になっていた。もう60名近くの方が退会しているんです。私が入会して17年ですから、毎年3名以上の方が入れ替わっているということに気付きました。退会している方を眺めてみると、どちらかという受身の人がクラブを辞めていると思われます。待っていてはダメですよ。自ら進んで物事を行なう人、発動する人がロータリーライフを満喫出来ると思っています。

最近、入会したばかりの人がIDMにあまり出てこないのではないのでしょうか。私も入会当初はあまり出たくなかったけれど、とにかく進んで出席するようにしました。

性格は違うけれども結果を考えずに先ず動くことを勧めます。そうすればロータリーライフを楽しむことが出来ると思いますし、退会の防止にもなると思います。そんな環境を作り出すべきではないでしょうか。

【司 会】 江戸少年はお父さんと星飛馬親子のごとき体験をなさったようです。今日の江戸さんの礎の一端を垣間見ることが出来たように思います。良いお話を有難うございました。

江戸さんも人生の達人ですが、もう一人、人生の達人の一人である波多野さん、いかがでしょうか。

【波多野】 ロータリーの組織の中に限らず、地域、PTA、同業者と色々な団体の中でお世話になりながら自分なりの人生を送っています。私の参加している団体はどれも素晴らしい人ばかりです。江戸さんのおっしゃる「発動」

という言葉、正にその通りだと思います。ロータリーの原点は素晴らしい友達を作ることだと思いますが、これは発動しなくては出来ないことではないでしょうか。

50歳、60歳でも新入会員の方はじっとしていたら前に進めないですね。自分が動くことで友達が出来るのではないのでしょうか。

【司 会】 ロータリーの魅力という問いは少々単純すぎたかと反省していますが、皆さんのお話をお聞きすると、皆さん、異業種の素晴らしい仕事をなさっている人格者との交流を通して友情を深め自分を磨くことが出来る。ただし、あくまで積極的に接することで一層の友情が育まれるということであり、これがロータリーの本質であろうということだったと思います。有難うございます。

ここでしばらく休憩を取ります。

● 同好会活動について

【司 会】 当八幡西RCは40周年を迎えますが、始めに申し上げたように、石島会長の活動方針であります「過去の歴史に学び、今を大切にしながら、明日に向かってロータリーの活動を実践しなければならない」と思います。

次に、親睦を通じての友情という話がありますが、RCは、ポール・ハリスを中心に、異業種の友達を作り親睦を深めつつ自分の職業を通じて奉仕をしていくということがスタートでしたが、ここで同好会を含めて話をお伺いします。

同好会というものは、車でいえばハンドルの遊びのようなもので、人生にも遊びが必要です。もちろんロータリー活動に取り組む際は、真面目に深く真剣に取り組むという側面がありますが、同好会というものもあって良いのではないかと考えます。

同好会の効用について、皆さんはどのようにお考えですか。先ず波多野さん、お願いします。

【波多野】 偶然ですが、本日参加している5人は野球同好会のメンバーです。例会の1時間は私語が禁じられていますので、なかなか仲良くなるのも難しいと思います。同好会はそういう面で大切だと思います。

私は野球同好会のマネージャーとして日々辛い(?)思いをしています。

同好会といえども一所懸命にやらなければならないという面があります。例会で取り決めたことを1年間一所懸命にやっていくのと、同好会で活動していくのではおのずと温度差がありますが、多くの人のコンセンサスが必要だということは同好会も同じです。単純ではないのですが、何でも言えるのが同好会だと思います。本音で話を通じることが同好会の素晴らしいところだと思います。

【司 会】 当クラブには、旅行、ゴルフ、野球、写真、囲碁、釣同好会とあります。同好会というものは、意外に意味のある面もあると思いますが、江戸さんはいかがお考えですか。

【江 戸】 同好会は意義があると思います。私は若い頃から何でも率先して行動していました。最近では、誰かが一所懸命やっていたらそれを無視せずついていく、という風になってきました。いずれにしても、例会だけでは人間関係を深めることは難しいと確信しています。だから、いろんな同好会に参加したら良いと思います。

例えば、野球同好会でも、やりたくてやっている人ばかりでもないんです。でも同好会に入会することで、いろんな人間関係が築けるといいますので、同好会を色々作ってみてはどうでしょうか。退会防止にも役立つと思います。ク



江戸 達也君

ラブと違う同好会の存在は貴重だと思います。強制されない同好会というものが必要なのではないのでしょうか。

【司 会】 同好会は趣味の共有だと思います。強制ではないので意義があります。退会防止にも役立つと思うということですが、委員会活動というものもありますが、これとは異なる活動として同好会があると思います。全会員が少なくとも何か一つの同好会に入ってはどうかと思います。吉田さんはどう思われますか。

【吉 田】 私は同好会活動に賛成です。

実は、私は最近運動していないので野球同好会も引退しているつもりなんです。先日練習を見に行きましたが、富田、阿部の二人の新人が初々しくていいなあと思いました。

練習に参加した翌週の例会場では、もう私にとって、阿部さんや富田さんはとても近い存在になっています。

旅行同好会に参加してからは、旅行同好会の会長である伊豆さんの言うことは何でも聞くようになりました。伊豆さんからバンドをやれと言われればバンドをします。これは good will には good will で応えたいという気持ちの現れです。でも本音では強制は嫌なんです、私はわがままだから。でもとにかく同好会というものは大賛成です。

【司 会】 すんなりと絆を深めることは難しいと思いますが、同好会に参加することでスムーズに関係が深まると思う事例をお話頂きました。もう一方、岩崎さん、野球とゴルフ同好会に参加されていますが、いかがでしょうか。

【岩 崎】 今、旅行同好会にも首を突っ込んでいます。野球は全くしたことがなかったんです。始めの内は、何で野球をしなくちゃいけないの

かなあと思いながら参加していました。試合ではベンチウォーマーが多いです。ゴルフ同好会ではハンディ50をもらっています。例えば、波多野さんのハンディは6ですが、もしも波多野さんがハンディ8と言われればすごい屈辱感を感じると思うのですが、私はハンディ50を何とも思いません。というのも、私は、ゴルフは皆と仲良く回れば良いと思っているからです。江戸さん、大林さん、吉田さんらの口のバトルを横で聞くのがとても楽しいんです。

又、旅行のお世話をしていますが、「何でもこまでするの」と言ってお下さる方もいます。でも、私にとってはお世話をするのが楽しいんです。現在の会員の中にはバイク好きの方(野口さん)もいらっしゃるので、バイク同好会も作ってみたいと思っています。

【司 会】 岩崎さんには頭の下がる思いをすることがたびたびあります。スケジューリングが素晴らしいですね。荒井さんは、全てに対してストイックに真正面から取り組んでいらっしゃるように思いますが、同好会についてはいかがお考えですか。

【荒 井】 野球同好会、バンドも一生懸命やる性格なので頑張っています。特に野球同好会は怪我もなくやってこれて良かったと思います。

同好会は入会の動機付けになりますね。ロータリーの入会を勧める時に、同好会が色々があると勧めやすいですね。例えば、旅行会、あんな豪華な旅行会はないのではないのでしょうか。強制されることはなるべくなくして、皆が好きなことをやって楽しむ、そんな同好会が増えて皆がロータリーライフを楽しめたら良いなあと思います。

● 奉仕活動について

【司 会】 八幡西の特徴かもしれませんが、非常に寛容な雰囲気がありますよね。

同好会の存在が、退会防止、会員増強に深く関わっていると思います。

我がクラブの伝統でもある社会奉仕について、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。我がクラブでは、発足当時から独自性のある史跡保存委員会と健康委員会があり、高い評価を受けています。1987年には国際ロータリー会長表彰を受けています。2700地区ガバナーの業績賞も受けています。史跡保存委員会は文化的地域に根ざした貴重なもので、先輩の業績が大です。こういう委員会は社会奉仕として今後も発展していったらと思います。

波多野さんは、史跡保存委員会に属していたと思いますが。

【波多野】 史跡保存委員長をしたこともあります。日常の活動はほとんどないけれども、周年行事に向けて活動しています。

今回の40周年記念事業としてのホームページ制作も、長崎街道についての史跡保存委員会の活動があったからだと思う。先輩の活動に感謝します。

例会で食事や会話を漠然としても意味がないのであって、目的を持っていることが大切だと思います。

史跡保存委員長としては、過去の活動を会員に知らせることが活動だと思います。

【司 会】 職業奉仕は、自分の仕事を通じて社会に奉仕するということが基本だと思います。社会奉仕委員会の活動としては発足以来、いろいろな活動をしてきておりますが、ある時点から少々停滞しているように思えます。その原因

として予算の問題もあるのではないのでしょうか。そこで、ニコニコボックスの在り方を含めて、皆さんのお考え等をお聞かせ頂きたいのですが。

【荒 井】 職業奉仕あつてのロータリーだと思います。ニコニコボックスというのは、私が入会した時には、感動したことや嬉しかったことがあったら1,000円入れて、社会奉仕に役立てようということだったと思います。

私が入会した直後か翌年の総会だったと思いますが、ニコニコボックスの扱いについて喧々諤々の議論がありました。一般会計に半分程度充当するというのはまだ理解出来ますが、はじめから丸々一般会計に計上するというのはおかしいと、その時以来ずーっと思い続けています。

ニコニコボックスの寄付金は、社会奉仕、国際奉仕に役立てるべきではないかと思っています。100万ドルの食事も同様です。そういったことをやらなくてはいけないと思っています。入会して10年位経った頃、ロータリーを辞めようと思ったことがありました。辞めようと思った理由の一番が、社会奉仕、国際奉仕をしていないことでした。その時、稲富さんが、ここでやれないのなら奉仕の在り方をここで学んで、地元でやれば良いではないか、それもロータリー活動の一つだよ、と私に言ってくれて、退会を思いとどまりました。

私の気持ちとしては、ニコニコボックスは半分でも良いから特別会計にしてもらいたいと思っています。

【江 戸】 私も荒井さんに同意見です。私が幹事を務めた時に、理事会でこのような矛盾は早く解消すべきだと議論したこともあります。色々背景があつて、その時の会長、理事会がニコニコボックスを一般会計に計上したのだと思います。気遣いは必要だが援助する必要は



波多野正信君

全くないと思っています。赤字ならば会費を上げればいいではないかと思っていました。チャリティ・オークションやニコニコを予算化しているが、半強制的なニコニコボックスは目的逸脱だと思います。そんなことをするくらいなら会費値上げをすべきだと思っています。

幹事時代に持論を述べたが、今も矛盾を強く感じています。特別会計にしないと社会奉仕や国際奉仕も出来ません。個人的には、まずは社会奉仕、次に国際奉仕だと思っています。お金を使うことが全てではないが、活動をする為には費用がかかるわけですから、これらの奉仕活動をする為の特別会計を設けるべきだと思います。

【司 会】 財政について幹事の時にご苦労なされた岩崎さん、いかがですか。

【岩 崎】 私も荒井さん、江戸さんと同意見です。ニコニコボックスについては一般会計に入れるべきではなく、特別会計にすべきです。私も入会当時は何かあった時に入れると教わったのですが、最近の入会者は、ニコニコボックスの意義や会計処理について趣旨が分からないまま、先輩に言われるから入れるんだということではないでしょうか。私自身も理事役員になって、理事会に出席して初めて一般会計・特別会計の違いが分かりました。チャリティ・オークションやニコニコボックスの収益は特別会計として計上するのが筋だと思います。

先程お話ししましたが、あるクラブの会長から卓話依頼のお話があった際に、クラブの活動計画書を拝見しました。そこにはニコニコボックス収益を一般会計に繰り入れると書いてありました。どのクラブも財政難で会計が厳しいので仕方ないのかあとと思いました。

会費の値上げや寄付が続くと退会者も出てくるかもしれませんが、やはりチャリティ・オー

クションやニコニコは特別会計にすべきだと思います。

【司 会】 ロータリーの根本問題と思いますが、吉田さんはいかがですか。

【吉 田】 理論的には皆さんの言う通りだと思いますが、現実問題としては、又、会費を値上げするのか、他の業務を減らすのかということになるので、一般会計化も仕方ないのではないのでしょうか。会費を上げると退会者が出てくると思います。皆でよく話し合った上であればニコニコボックスの一般会計計上もやむなしと考えます。実のところ、どちらが良いのか分からないというのが本音です。

【司 会】 会員のコンセンサスを得ることが出来れば一般会計化もやむをえないというお考えのようですが、波多野さんはいかがですか。

【波多野】 単純に考えれば、ニコニコボックスというものは、本来そういった奉仕活動の為のものであるということなので、当然特別会計にすべきだと思います。一般会計化の際の激論も理解出来ますし、一般会計化はやむにやまれぬ措置だったと思います。赤字解消の為には、会費値上げ等、他の方策もあったと思います。ニコニコボックスの一般会計繰り入れは特別措置だと思います。将来的には本筋に戻るのが理想だと思いますし、その為の努力を私達はしなくては行けないと思います。

40周年を越えて

【司 会】 クラブの財政の現実面を見れば一般会計化も理解しなくては行けないのかなとも思われますが、本来の予算措置ということから考え

ると、ニコニコボックスの一般会計化は緊急避難的な一時的な措置ではないでしょうか。

次に、10年後には50周年を迎えますが、「過去の先達の歴史に学び、今を大切に、明日に向かってロータリーの本質を求めていく」という意味では、歴史に学びながら50周年に向かって取り組んでいく為には色々とおもうと思いますが、この際、ロータリーとは何かということをもっと勉強するべきではないかという意見も聞こえてきます。

未来に向かっての取り組みとしてどのようなことが考えられるでしょうか。江戸さんいかがですか。

【江戸】 難しいことは分かりませんが、会員皆が健康で50周年を迎えられることが大事だと思います。ロータリーとは何かということの勉強も必要ですが、強制して勉強会を開いても意味がないのではないのでしょうか。皆さんそれぞれ価値観が違うので、ロータリーライフも違って良いと思います。例会等に嫌々出席するのはない環境づくりが必要です。その為には、発動、健康が大切です。皆さん「10年後、俺はいないよな」とか冗談でおっしゃいますが、そんなことを言わず、皆が健康であって欲しい、そう思っています。

【司会】 全く同感です。皆さんが健康で、充実した状態で50周年を迎えられたら良いなと思います。荒井さんはいかがでしょう。

【荒井】 私も西ロータリーは素晴らしい、楽しいクラブだと思います。ただ、50周年に向けてということであれば、江戸さんがおっしゃったように、勉強会を強制するのではなくて必然的に勉強会が出来れば良いと思う。そうして当クラブがメリハリのあるクラブになって欲しいと思います。私達中堅の会員が中心になって、

楽しいところは楽しく、抑えるところは抑えるといった雰囲気作りをしてあげることで、入会年数の浅い方も溶け込みやすいのではないかと思います。

私は今出席委員長をしています、入会前のインフォメーションでは、出席の意義、メーキャップ等についてあまり詳しく説明されていないと思います。私の時もそうでした。ただ週1回例会に出席するのだということだけを説明し、欠席したらどうなるのか、欠席をカバーする為にはどうすればいいかといったことをお話していないと思います。このことについても何かしなくてはいけないのではないのでしょうか。

【司会】 メリハリをつけるということだと思いますが、その方法論について、岩崎さんご意見はございませんか。

【岩崎】 私は、自分自身が良いロータリアンとは思っていませんが、質よりも量というのが世界中のRCのここ数年の傾向であったと思います。これが質の低下を招いた。今後は見直すべきだと思います。ロータリーにふさわしい人の参加を求めるべきだと思います。素晴らしい人材作りをして、それを次世代につなぐことが大切です。私も私なりに努力、勉強はしているつもりです。クラブとしては、新入会員は地区大会の出席等、義務出席は守るところから始めて、人材の育成が必要だと思います。

【司会】 大変良いお話でした。吉田さんはいかがお考えですか。

【吉田】 私はメリハリが大切だと思います。昔は厳しい先輩がいらっしゃったと言われていますが、これを伝承しなくてはいけないと思います。私は利他的な所がありますが、締めるべきところは締めなければいけないと思っています。



吉田総次郎君

す。昔の先輩は「それはロータリー精神ではな
かろうが」と言って叱っていらした。厳しさは
必要だと思います。

小嶋さんが教育の話で「子供が悪いのではな
い。我々前の世代が悪いのだ」とおっしゃいま
した。ロータリーにおいて出来ることはと言え
ば、例えば、綱領の唱和とか委員会ごとに委員
会の意味を勉強するとか、そういったことを考
えます。私は新世代奉仕・I A Cに所属してい
ますので、この1年自分の所属する委員会につ
いての勉強をしようと思っています。

【司 会】 大変示唆に富んだお話だったと思
います。江戸さんは苦言を呈する先輩がいなく
なったとおっしゃっていましたが、波多野さん
はいかがでしょう。

【波多野】 何でもそうですが、長い年月を経
ると馴れ合いが生じ、仲良しクラブになってい
く。これは仕方のない面があります。だから何を
すべきか考えることになります。そこで「原点
に戻る」ということがよく言われます。これは大
事だと思います。例えば、先程話題になったニ
コニコボックスの趣旨の理解をする場を設ける
が必要だと思います。高貴な理想の再認識を
する必要があります。会費を支払い、ご飯を頂
くだけではもったいない。私が幹事の時、I M
で苦労したと申し上げましたが、それを通じて
私は成長したと思っています。

当クラブのI A C提携校である星琳高校の会
長である生徒さんが例会に来た時に、インター
アクト指導者講習会のお世話を通じて「自分は
成長した」と言っていました。彼は本当に成長
したのだと思います。

私達も、何事においても、ロータリーの原点
を理解して行動することが有益だと思います。

【司 会】 先程話題に上りました、インターア

クト指導者講習会は素晴らしかったですね。

R Cというものが会員に対して素晴らしい場
所を提供し、人間的に成長する場所を与える場
所だということを強く感じさせられます。

最後に、「私のロータリーに対する夢」につ
いてお話下さい、岩崎さん。

【岩 崎】 夢について語るのは難しいですね。
私はこのクラブが大好きです。一日でも長く参
加したいというのが本音です。その為には、会
社を続けていく必要があります。ここを退会す
る時は死んだ時と思って、やっていきたいと思
います。

【司 会】 ポール・ハリスが聞いたら涙するで
しょうね。吉田さんはいかがですか。

【吉 田】 夢というか希望についてお話すると
すれば、感謝の気持ちを保ちたいと思います。
いろんな機会を与えてもらい、良い友達、良い
仲間巡り合えたと思っています。私で役立つ
のなら進んで取り組みたいですね。頼むぞと言
われたら一歩前進して引き受けるようにした
い。これまでにロータリーからは沢山のものを
頂きました。これから私に出来ることは、ロー
タリーの品位を落とさないことと、協力の気持
ちを持ち続けて、恩返しをしたいと思ってい
ます。

【司 会】 意気込みが素晴らしいですね。先程
から、荒井さんの「そういう司会者はどんな夢
をお持ちですか」という視線を感じていますが、
私にはお話出来るような夢がないのですみませ
ん。荒井さん、いかがですか。

【荒 井】 テレビで見ていると、外国で井戸を
掘るのは大変だというシーンが出てきますよ
ね。別に国際奉仕として井戸掘りにこだわるこ



正木 文久君

とはないのですが、いつの日か、子供との会話の中で、「お父さんはロータリーでこんなことをして人の役に立ったんだよ」と言えるようになりたい、それが夢です。

【司 会】 貴重なご意見有難うございます。江戸さんはいかがですか。

【江 戸】 今この場で周りを見回して、このような方々と知り合うことが出来たという、出会いの大切さを感じます。出会いをダイヤにするか砂利にするかは私自身の努力にかかっていると思います。出会いを砂利にしないでダイヤモンドに出来るかどうかは心がけ次第だと思います。出会いを大切に、ロータリーライフを歩んでいきたいと思っています。

【司 会】 波多野さん、最後をお願いします。

【波多野】 ロータリーに対して持つ夢というのは特にありません。強いてあげるならガバナーを目指したい…、これは冗談です(笑)。

人としての存在意義を考えた時、何か形として残せるものがあればと思っています。

【司 会】 有難うございました。皆さんはまだ若い方々ですが、この座談会を通じて大変含蓄のある意義深いお話を伺うことが出来て、ロータリーはこんなにも人を成長させるのかと感心しました。

本日は、長時間にわたり経験談やご意見を頂戴しました。どうも有難うございました。

当クラブは1967年6月2日創立ですが、1973年3月10日に、帆柱山の櫛谷に桜300本、楓20本を植林しました。私は3年程前、社会奉仕委員長の際に委員の皆さんとその後の状況を見に行きました。手入れも十分になされていない中、桜はたくましく花を咲かせていました。桜は当クラブとはほぼ同じ年輪を重ねてきているのですが、尺岳登山コースの傍らで、春には花を咲かせ、環境浄化にも一役買っているのだと思います。着実に成長している桜の木を見て、私達八幡西RCも櫛谷の桜の木のように着実に成長出来るようにと祈念して、この座談会を終わりたいと思います。本日は、どうも有難うございました。





創立からのあゆみ

創立から30年間の歩み 32

31年目から10年間の歩み 38

同好会 58

行事記録 62

創立時



八幡西ロータリークラブ認証状伝達式

10周年



八幡南ロータリークラブ認証状伝達式

20周年



万葉歌碑の建立(岡田宮境内)

30周年



メモリアルブック贈呈

長崎街道夢紀行
ビデオ制作

1

1967年～1968年(S42～S43)

RI会長 ルーサー・H・ホツチ

テーマ「ロータリアンとして貴方の資格を効果的に」

会長 桑原英雄 副会長 増田孝 幹事 和田正吉

〈役員〉 副幹事：菅原了 会計：金子義数 S.A.A.：末松茂実
 〈理事〉 桑原英雄、増田孝、和田正吉、宮原林、田中善一、加瀬康作、長野義夫

2

1968年～1969年(S43～S44)

RI会長 東ヶ崎 潔

テーマ「参加しよう、敢行しよう」

会長 宮原林 副会長 和田正吉 幹事 秋吉三郎

〈役員〉 副幹事：吉田笹記 会計：金子義数 S.A.A.：菅原了
 〈理事〉 宮原林、和田正吉、秋吉三郎、加瀬康作、末松茂実、井上博厚、塚本俊明

3

1969年～1970年(S44～S45)

RI会長 ジェームス・F・コンウェイ

テーマ「再検討し、刷新しよう」

会長 秋吉三郎 副会長 属 将夫 幹事 吉田笹記

〈役員〉 副幹事：貫 豊輝 会計：金子義数 S.A.A.：谷水直行
 〈理事〉 秋吉三郎、属 将夫、吉田笹記、桑原英雄、田代芳鉄、井上博厚、早間一雄

4

1970年～1971年(S45～S46)

RI会長 ウィリアム・E・ウォーク

テーマ「隔たりを取り除こう」

会長 加瀬康作 副会長 大庭九一郎 幹事 貫 豊輝

〈役員〉 副幹事：桑原英雄 会計：金子義数 S.A.A.：属 将夫
 〈理事〉 加瀬康作、大庭九一郎、貫 豊輝、桑原英雄、秋吉三郎、早間一雄、長野義夫、岡本辰美、岩城義郎

5

1971年～1972年(S46～S47)

RI会長 アントス・G・ブライトホルツ

テーマ「善意は先ず貴方から」

会長 和田正吉 副会長 榊原 剛 幹事 三原 博

〈役員〉 副幹事：安藤道男 会計：上田美義 会場監督：亀石敏夫
 〈理事〉 和田正吉、三原 博、西原 豊、太田文三郎、舟木軍一、榊原 剛、山崎晋良、岡本辰美、属 将夫



6	1972年～1973年(S47～S48) RI会長 ロイ・D・ヒックマン
	テーマ「もう一度、見直そう」
会長 大庭 九一郎 副会長 望月 康一郎 幹事 末松 俊夫	
〈役員〉 副幹事：末松茂実 会計：上田美義 会場監督：阿部博明 〈理事〉 大庭九一郎、末松俊夫、桑原英雄、加瀬康一、望月康一郎、高島守義、末松茂実、菅原了、金子義数	

7	1973年～1974年(S48～S49) RI会長 ウィリアム・S・カーター
	テーマ「今こそ、行動のとき」
会長 属 将夫 副会長 加瀬 康一 幹事 村田 充	
〈役員〉 副幹事：土岐弘毅 会計：上田美義 会場監督：山崎晋良 〈理事〉 属 将夫、村田 充、加瀬康一、貫 豊輝、阿部博明、榊原 剛、太田文三郎、山崎晋良、矢野的男	

8	1974年～1975年(S49～S50) RI会長 ウィリアム・R・ロビンズ
	テーマ「ロータリー精神を振るい起こせ」
会長 加瀬 康一 副会長 榊原 剛 幹事 和田 正吉	
〈役員〉 副幹事：八木下和郎 会計：上田美義 会場監督：矢野的男 〈理事〉 加瀬康一、榊原 剛、和田正吉、阿部博明、西原 豊、貫 豊輝、宮原 林、田中善一、三宅央純	

9	1975年～1976年(S50～S51) RI会長 エルネスト・インバツサイ・デメロ
	テーマ「人間に威信を」
会長 榊原 剛 副会長 阿部 博明 幹事 矢野的 男	
〈役員〉 副幹事：西原 豊 会計：下田清司 会場監督：甲斐英憲 〈理事〉 榊原 剛、阿部博明、矢野的男、橋本勝之、柴田健一、亀石敏夫、加瀬康一、八木下和郎、岩野二郎	

10	1976年～1977年(S51～S52) RI会長 ロバート・A・マンチェスター
	テーマ「ロータリーを私は信奉する」
会長 阿部 博明 副会長 橋本 勝之 幹事 岩野 二郎	
〈役員〉 副幹事：村上俊明 会計：下田清司 会場監督：大石武二 〈理事〉 阿部博明、橋本勝之、岩野二郎、八木下和郎、貫 豊輝、亀石敏夫、西原 豊、真鍋良金、和田正吉	

11

1977年～1978年(S52～S53)

RI会長 ジャック・デービス

テーマ「全人類を結びつけるための奉仕」

会長 橋本勝之 副会長 真鍋良金 幹事 中村一生

〈役員〉 副幹事：岩崎静馬 会場監督：村上俊明 会計：守田大一郎
 〈理事〉 橋本勝之、真鍋良金、中村一生、田中善一、貫 豊輝、城 健二、大庭九一郎、
 亀石敏夫、村田 充

12

1978年～1979年(S53～S54)

RI会長 クレーム・レネフ

テーマ「手をさしのべよう」

会長 真鍋良金 副会長 田中善一 幹事 西原 豊

〈役員〉 副幹事：八木下和郎 会場監督：三木敬一郎 会計：守田大一郎
 〈理事〉 真鍋良金、田中善一、西原 豊、山崎晋良、高田寿美、大石武二、城 健二、
 村田 充、矢野的男

13

1979年～1980年(S54～S55)

RI会長 ジェームス・L・ボーマ

テーマ「奉仕の灯で道を照らそう」

会長 田中善一 副会長 山崎晋良 幹事 城 健二

〈役員〉 副幹事：石田良夫 会場監督：阿部博明 会計：守田大一郎
 〈理事〉 田中善一、山崎晋良、城 健二、貫 豊輝、中村一生、村田 充、大庭九一郎、
 加瀬康一、八木下和郎、岩崎静馬

14

1980年～1981年(S55～S56)

RI会長 ロル・J・クラリッヒ

テーマ「時間を捧げよう奉仕のために」

会長 山崎晋良 副会長 貫 豊輝 幹事 高田寿美

〈役員〉 副幹事：安武真哉 会場監督：石田良夫 会計：稲井恒彦
 〈理事〉 山崎晋良、貫 豊輝、高田寿美、村上俊明、神尾栄一、橋本勝之、岡本辰美、
 加瀬康作、岩崎静馬

15

1981年～1982年(S56～S57)

RI会長 スタンレー・E・マックキャプリー

テーマ「ロータリーを通じて世界理解と平和を」

会長 貫 豊輝 副会長 村上俊明 幹事 諸永光雄

〈役員〉 副幹事：井上俊司 会場監督：西原 豊 会計：古賀克己
 〈理事〉 貫 豊輝、村上俊明、諸永光雄、阿部博明、岩野二郎、加瀬康作、城 健二、
 安武真哉、能美博明



16

1982年～1983年(S57～S58)

RI会長 向笠広次

テーマ「人類はひとつ。世界中に友情の橋をかけよう」

会長 村上俊明 副会長 八木下和郎 幹事 岩崎静馬

〈役員〉 副幹事：能美博明 会場監督：舟木義治 会計：久部貞男
 〈理事〉 村上俊明、八木下和郎、岩崎静馬、橋本勝之、安武真哉、高田寿美、城健二、伊豆統一郎、山崎晋良

17

1983年～1984年(S58～S59)

RI会長 ウィリアム・E・スケルトン

テーマ「みんなにロータリーを。みんなに奉仕を。」

会長 八木下和郎 副会長 高田寿美 幹事 土岐弘毅

〈役員〉 副幹事：橋本勝之 会場監督：諸永光雄 会計：久部貞男
 〈理事〉 八木下和郎、高田寿美、土岐弘毅、貫増雄、中村一生、岩野二郎、村田充、舟木義治、阿部博明

18

1984年～1985年(S59～S60)

RI会長 カロス・カンセコ

テーマ「見つけよう、奉仕の新生面」

会長 高田寿美 副会長 岩野二郎 幹事 石田良夫

〈役員〉 副幹事：西原豊 会場監督：貫増雄 会計：後藤宏男
 〈理事〉 高田寿美、岩野二郎、石田良夫、諸永光雄、山崎晋良、鍋島康夫、村田充、村上俊明、奥村勇也

19

1985年～1986年(S60～S61)

RI会長 エドワード・F・ガドマン

テーマ「あなたが鍵です」

会長 岩野二郎 副会長 中村一生 幹事 鍋島康夫

〈役員〉 副幹事：山中秀夫 会場監督：八木下和郎 会計：光永太一
 〈理事〉 岩野二郎、中村一生、鍋島康夫、貫豊輝、舟木義治、村田充、土岐弘毅、阿部博明、水口鉄昭

20

1986年～1987年(S61～S62)

RI会長 M.A.T. カバラス

テーマ「ロータリーは希望をもたらす」

会長 中村一生 副会長 村田充 幹事 伊豆統一郎

〈役員〉 副幹事：斉藤利美 会場監督：山崎晋良 会計：山下英明
 〈理事〉 中村一生、村田充、伊豆統一郎、神尾栄一、高田寿美、永野義恒、国武元記、奥村勇也、村上俊明

21

1987年～1988年(S62～S63)

RI会長 チャールズ・C・ケラー

テーマ「奉仕に結束—平和に献身」

会長 村田 充 副会長 岡本辰美 幹事 国武元記

〈役員〉 副幹事：水口鉄昭 会場監督：樋口寿郎 会計：河村 洋
 〈理事〉 村田 充、岡本辰美、国武元記、永田豊作、斉藤利美、桑園富士夫、山崎晋良、
 稲富靖彦、村上俊明

22

1988年～1989年(S63～S64、H元)

RI会長 A.H.ロイス・アピー

テーマ「ロータリーに活力を—あなたの活力を」

会長 岡本辰美 副会長 永田豊作 幹事 園田裕孝

〈役員〉 副幹事：波多野正信 会場監督：阿部博明 会計：山下英明
 〈理事〉 岡本辰美、永田豊作、園田裕孝、貫 豊輝、岩野二郎、八木下和郎、土岐弘毅、
 樋口寿郎、大林清幸

23

1989年～1990年(H元～H2)

RI会長 ヒューM・アーチャー

テーマ「ロータリーを楽しもう！」

会長 永田豊作 副会長 土岐弘毅 幹事 神尾栄一

〈役員〉 副幹事：菅本国博 会場監督：貫 豊輝 会計：山下英明
 〈理事〉 永田豊作、土岐弘毅、神尾栄一、鍋島康夫、菊竹保平、村上俊明、波多野正信、
 八木下和郎、伊豆統一郎

24

1990年～1991年(H2～H3)

RI会長 パウロV・C・コスタ

テーマ「ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし」

会長 土岐弘毅 副会長 伊豆統一郎 幹事 波多野正信

〈役員〉 副幹事：稲富靖彦 会場監督：八木下和郎 会計：山下英明
 〈理事〉 土岐弘毅、伊豆統一郎、波多野正信、石田良夫、岡本辰美、都合一雄、徳永晃久、
 安武真哉、岩野二郎

25

1991年～1992年(H3～H4)

RI会長 ラジェンドラ K・サブー

テーマ「自分を越えた眼を」

会長 伊豆統一郎 副会長 鍋島康夫 幹事 安武真哉

〈役員〉 副幹事：片岡映二 会場監督：岩野二郎 会計：岡崎道男
 〈理事〉 伊豆統一郎、鍋島康夫、安武真哉、舟木義治、阿部博明、貫 豊輝、桑園富士夫、
 井上俊司、神尾栄一



26

1992年~1993年(H4~H5)
RI会長 クリフォード L・ダクターマン

テーマ「まことの幸福は人助けから」

会長 鍋 島 康 夫 副会長 神 尾 栄 一 幹事 舟 木 義 治

〈役員〉 副幹事：水口鉄昭 会場監督：波多野正信 会計：岡崎道男
〈理事〉 鍋島康夫、神尾栄一、舟木義治、井上俊司、佐藤 進、貫 豊輝、荒井俊勝、
是此田 穰、岩野二郎

27

1993年~1994年(H5~H6)
RI会長 ロバート R・バース

テーマ「行動に信念を 信念は行動に」

会長 神 尾 栄 一 副会長 石 田 良 夫 幹事 徳 永 晃 久

〈役員〉 副幹事：山本政昭 会場監督：田中正臣 会計：森井康晴
〈理事〉 神尾栄一、石田良夫、徳永晃久、安武真哉、安川 直、有蘭秀昭、片岡映二、
阿部博明、山崎晋良

28

1994年~1995年(H6~H7)
RI会長 ビル・ハントレー

テーマ「友達になろう」

会長 石 田 良 夫 副会長 舟 木 義 治 幹事 樋 口 寿 郎

〈役員〉 副幹事：荒井俊勝 会場監督：沼田正行 会計：安田保洋
〈理事〉 石田良夫、舟木義治、樋口寿郎、末吉楠雄、石島靖之、中村一生、福原勝巳、
稲富靖彦、吉田総次郎、桑園富士夫、高田寿美

29

1995年~1996年(H7~H8)
RI会長 ハーバード・グラハム・ブラウン

テーマ「真心の行動 慈愛の奉仕 平和に挺身」

会長 舟 木 義 治 副会長 井 上 俊 司 幹事 荒 井 俊 勝

〈役員〉 会場監督：森 肇 会計：安田保洋
〈理事〉 舟木義治、井上俊司、荒井俊勝、是此田 穰、山本良一、松永 等、安東秀夫、
属 将之、片岡映二、村上俊明、八木下和郎

30

1996年~1997年(H8~H9)
RI会長 ルイス・ビセンテ・ジアイ

テーマ「築け未来を—行動力と先見の眼で」

会長 井 上 俊 司 副会長 是此田 穰 幹事 属 将 之

〈役員〉 会場監督：原田和紀 会計：安田保洋
〈理事〉 井上俊司、是此田 穰、属 将之、佐藤信茂、大林清幸、森永忠芳、阿部博明、
岡本辰美、菅本国博、安武真哉、有蘭秀昭

31

1997年~1998年(H9~H10)

RI会長 グレン W・キンロス

テーマ「ロータリーの心を」

会長 是此田 穰 副会長 菅 本 国 博 幹事 稲 富 靖 彦

〈役員〉 会場監督：益吉英利 会計：林 紀男
 〈理事〉 是此田 穰、菅本国博、稲富靖彦、田代喜久夫、森 肇、大林清幸、江戸達也、
 小川清澄、安東秀夫、土岐弘毅、中村一生

委員会構成

委員会	委員長	委員
クラブ奉仕	田代喜久夫	菅本国博
出席	藤村 克成	木村長生、(土岐弘毅)
職業分類	鍋島 康夫	伊東民次郎、山本政昭
会員増強	小嶋 一碩	石島靖之、安武真哉
会員選考	舟木 義治	(岡本辰美)、属 将之
プログラム	森 肇	佐藤信茂、永田豊作、原田和紀、山内 進、森永忠芳
広報	藤原 浩芳	都合一雄、安川 寛、(田仲一雅)
ロータリー情報	阿部 博明	井上俊司、(中村一生)、山崎晋良
雑誌	菱岡紀代志	小田 博
会報	浜崎 靖	斉藤利美、谷 良樹、津上宏樹、古澤洋一郎、吉田総次郎
健康管理	伊豆統一郎	有蘭秀昭
親睦活動	荒井 俊勝	猪狩功司、石田良夫、瓜生昌昭、岡本辰美、岸野 玲、 佐藤 進、服部勝彦、林 紀男
職業奉仕	大林 清幸	相良武志、菅原康夫、城 健二、橋本篤人
社会奉仕	江戸 達也	末吉楠雄、福永義弘、古野宰弘、増田 孝、湯野英輔
史跡保存	桑園富士夫	田中裕昌
インターアクト	小川 清澄	池田勝久、高木 昇、望月康治、安仲 寛
国際奉仕	安東 秀夫	青木博志、(神尾栄一)、園田裕孝、村田 充
ロータリー財団	村上 俊明	高田寿美、田仲一雅
会場監督	益吉 英利	岩崎員久、波多野正信、福原勝巳、松永 等
会計	林 紀男	
会計監査	神尾 栄一	

()は兼務



1998年4月4日~5日 京都旅行

1998年4月4日~5日 京都旅行





会長テーマ「明るいクラブをめざそう」

31期会長 是此田 穰



八幡西ロータリークラブ創立40周年おめでとう!! 私は1997～98年度に31代目の会長を務めさせて頂きました。時の流れは早いもので10年が過ぎております。30周年記念行事を済ませた翌年で、周年行事に向けて1年半位前から皆頑張りました。私の年度は一息入れて「肩の凝らない、明るいクラブをめざして」を念頭にクラブライフを楽しむ1年にと過ごしてもらったつもりです。当時の週報を読み返してみますと、ロータリーを十分理解しきっていない私が、会長の時間に話した言葉でホッとと思うくらい格好よい話をしていた日があったかと思うと、調子に乗りすぎたキザっぽい話、碎けすぎて翌週の週報には「意味深なお話でした」の一言の記録の時もありました。今にして思うと、よくもまあといった感じで恥じ入っております。

会長になってからは、例会の日は朝から興奮気味で会場に入ると多幸的な状態になる日も度々でした。会長であることを楽しんでいたのかも知れません。例会での会長の時間には、事前に話す内容の原稿を準備して会報委員会(浜崎委員長)に提出しなければならないところを、会場に着く迄の車の中でのラジオの話題から、或る時は落語家の話の中から引用して思いつきで話すことが多く、原稿提出が殆どできず大変ご迷惑をかけてしまいました。

会長としてあるべき姿勢については阿部博明君より色々とお教わり、大変有難く感謝しております。八幡西ロータリーは「自分が中心である」の気概を持ってやれ、「人まかせばかりでは駄目だ」が要旨です。さて、自分がどの程度できたか自信のないところです。会長になって2つの事を実行することを決めました。①会長の時間には必ず一言でも話をする。②メンバー誕生日、お祝いを手渡す時握手を交わす。(横浜でメイクアップでお世話になったクラブは、ビジターに対して親睦委員が必ず握手を求めて歓迎の意を表わしておられた姿に感激しました。)クラブの種々の活動の実績は、大概目標又はそれ以上のものがあつた様ですが、「今年は一息入れましょう」の呼びかけが徹底しすぎたか、出席率が前年度より少し低かったようです。

最後に会長が終わって肩の荷が降りやれやれといった感情もありましたが、不思議なことに一抹の淋しさも感じました。この現象は如何に八幡西ロータリークラブが素晴らしいかということでしょう。有難うございました。



1998年4月4日～5日 京都旅行

1998年4月10日 例会 (則松 金山川周辺環境美化活動)



32

1998年~1999年(H10~H11)

RI会長 ジェームス L・レイシー

テーマ「ロータリーの夢を追い続けよう」

会長 菅 本 国 博 副会長 安 武 真 哉 幹事 江 戸 達 也

〈役員〉 会場監督：属 将之 会計：林 紀男
 〈理事〉 菅本国博、安武真哉、江戸達也、桑園富士夫、小嶋一碩、佐藤 進、末吉楠雄、池田勝久、青木博志、石田良夫、舟木義治

委員会構成

委員会	委員長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	桑園富士夫	安武真哉
出 席	木村 長生	菱岡紀代志、古野宰弘
職 業 分 類	山本 政昭	園田裕孝、田中裕昌、鍋島康夫
会 員 増 強	藤村 克成	伊東民次郎、湯野英輔
会 員 選 考	松永 等	岡本辰美、是此田 穰
プ ロ グ ラ ム	小嶋 一碩	橋本篤人、波多野正信、福原勝巳
広 報	城 健二	田仲一雅、安川 寛
ロータリー情報	井上 俊司	阿部博明、中村一生、山崎晋良
雑 誌	高木 昇	高田寿美、森永忠芳
会 報	安東 秀夫	石島靖之、岸野 玲、谷 良樹、(林 紀男)、藤原浩芳
健 康 管 理	相良 武志	田代喜久夫
親 睦 活 動	吉田総次郎	荒牧文昭、猪狩功司、小川誠一郎、菅原康夫、田中勇武、(谷 良樹)、中村知輝、(永田豊作)、西竹末治、村上俊明
職 業 奉 仕	佐藤 進	小田 博、益吉英利、村田 充
社 会 奉 仕	末吉 楠雄	荒井俊勝、斉藤利美、溝上米吉
史 跡 保 存	有蘭 秀昭	都合一雄、永田豊作、服部勝彦
イ ン タ ー ア ク ト	池田 勝久	小川清澄、望月康治、安仲 寛
国 際 奉 仕	青木 博志	伊豆統一郎、稲富靖彦、大林清幸、増田 孝
ロータリー財団	岩崎 員久	浜崎 靖、森 肇
会 場 監 督	属 将之	佐藤信茂、津上宏樹、土岐弘毅
会 計	林 紀男	
会 計 監 査	神尾 栄一	

()は兼務

1998年10月2日 観月会 (西日本工業倶楽部)



1999年4月2日 観桜会 (千草ホテル)





会長テーマ「ロータリーの夢を追い続けよう」

32期会長 菅 本 国 博

当クラブは、今期32期目を迎えます。国内では昨年来消費税率アップに始まり、金融ビッグバン・アジア通貨金融危機による未曾有の景気低迷の折、自己研鑽に励み、志を高く持ち、ロータリアンの友情に感謝し、気配りある明るく元気な西RCを目指そうと提言しました。



運営方針として

- ① 会員相互の思いやりと先輩達の良き指導により、退会者防止に努めよう。
- ② ホームクラブ出席率の向上、例会は人生の道場、目的意識をもって出席し、情報交換等何かを聞き、何かを学ぼう。
- ③ I A生と共に社会奉仕、地域社会に於て何が出来るかを考え実践しよう。
 - ・ 第2700地区大会 出席優秀クラブ表彰1997～1998年度
30年永年出席皆勤賞、阿部博明会員、岡本辰美会員
 - ・ I A生と共に皿倉山清掃登山、焼肉パーティでの親睦
 - ・ I A生が12名から17名に
 - ・ 青山女子高(現 星琳高校)マルチメディアセンターにて合同例会
 - ・ 米山奨学生 杜天佑君からバングラデシュのラフマン・モハメド・アザド君へ、カウンセラー 谷 良樹君
 - ・ 会報A 4にデザイン一新
 - ・ 会員数79名が77名
 - ・ 年間出席率 99.34%

*楽しかった思い出

10月2日 観月会 西日本工業クラブ

仲秋の名月の下でのガーデンパーティ。宮崎由起子さんのピアノ演奏、伊豆会員の美声「出船」にうっとり。

11月22日～23日 岡山・倉敷への旅行会

豪溪の紅葉狩り、宝福寺の精進料理、浜作のままかり、地酒のおいしかった事。

12月18日 忘年家族会

ホームステイの留学生等の出席で国際色豊かになりました。絶唱の荒井会員、江戸幹事さんの歌の上手い事にびっくりさせられました。

以上の様に、景気低迷の中、無事次期会長安武様へ引継ぎが出来ましたのも、江戸幹事さんより多くの助言と知恵を頂き、会員皆様の力添えや温かい友情のおかげだと感謝するばかりです。西RCの40周年、50周年に向け更なる発展を期待しております。



1998年11月22日～23日 岡山・倉敷旅行

33

1999年~2000年(H11~H12)
RI会長 カロ・ラビツア

テーマ「ロータリー2000:活動は-堅実、信望、持続」

会長 安武真哉 副会長 田代喜久夫 幹事 安東秀夫

〈役員〉 会場監督：稲富靖彦 会計：野坂文雄
 〈理事〉 安武真哉、田代喜久夫、安東秀夫、菱岡紀代志、橋本篤人、浜崎 靖、益吉英利、
 安仲 寛、大林清幸、阿部博明、伊豆統一郎

委員会構成

委員会	委員長	委員
クラブ奉仕	菱岡紀代志	田代喜久夫
出席	松永 等	小川清澄、属 将之
職業分類	田中 裕昌	園田裕孝、鍋島康夫
会員増強	湯野 英輔	荒井俊勝、有蘭秀昭、村上俊明
会員選考	永田 豊作	(阿部博明)
プログラム	橋本 篤人	相良武志、菅原康夫、土岐弘毅
広報	望月 康治	青木博志、菅本国博
ロータリー情報	中村 一生	井上俊司、高田寿美、山崎晋良
雑誌	谷 良樹	(伊豆統一郎)、岡本辰美
会報	藤原 浩芳	荒牧文昭、木村長生、佐藤信茂、城 健二、溝上米吉
健康管理	森 肇	梶原敬史
親睦活動	波多野正信	岩崎員久、大谷忠晴、小川誠一郎、小田敬介、岸野 玲、古賀雄一、是此田 穰、斉藤利美、高木 昇、津上宏樹、(野坂文雄)
職業奉仕	浜崎 靖	石島靖之、(神尾栄一)、末吉楠雄、服部勝彦
社会奉仕	益吉 英利	石田良夫、江戸達也、田仲一雅、森永忠芳
史跡保存	福原 勝巳	桑園富士夫
インターアクト	安仲 寛	中村知輝、村田 充、吉田総次郎
国際奉仕	大林 清幸	小嶋一碩、佐藤 進、舟木義治、増田 孝
ロータリー財団	古野 宰弘	伊東民次郎、藤村克成
会場監督	稲富 靖彦	猪狩功司、池田勝久、田中勇武
会計	野坂 文雄	
会計監査	神尾 栄一	

()は兼務



1999年12月17日 忘年家族会
(千草ホテル)



2000年4月7日 観桜会「一宮公園」の夜桜

1999年7月30日 職場訪問
(九州国際大学)



会長テーマ「ロータリーに活力を一あなたの活力を」

33期会長 安武真哉



私が会長に就任致しました年は、2000年問題という、科学的トラブルが起こるやもしれぬという不思議な年でした。

世の中のコンピューターに誤作動が発生すると言われ、銀行のATMや家庭の炊飯器にいたるまでその誤作動を心配したものでした。新世紀開幕を目前にして、新世紀への期待と不安が混在し、政治、経済、教育、宗教とすべてにおいて混迷を続け、先の見えない時代だと言われていたのです。

そこで、ロータリー活動を明るく楽しく進めて行く事を考え、当クラブの運営方針を3項目掲げました。

1. 会員に自分の職業を具体的に知ってもらい、会員相互の職業を理解し、自分の職業を通して、どのような職業奉仕が出来るかを考え、実践を。
2. 魅力ある楽しい例会にするため「輪(わ)、話(わ)、和(わ)」を大切に。
3. 委員全員が委員活動に参画し、委員会活動の活発化を。

西クラブの会員の方々は、毎回の例会に楽しく出席され、クラブライフを意義あるものにしておられる、その様な中で、人と人とのつながりの輪を大切にし、輪を大切にする事は和に努めねばなりません。和を保つ事は大変エネルギーのいる事です。そこで話を大事にする事。

話を通して和になり輪をつくる、そんな事を考え会員相互の輪と和と話につながればと、年に何度かの夜の例会を実施致しました。

又、会員の方々の日頃の想いや趣味の事などを自由に綴った文集「手に手つないで」を、藤原浩芳会員の発案とご努力で2回発行され、皆々様に大変好評を得た事でした。

安東幹事の多大なお力添えを頂き、無事務め終える事が出来ました。心からお礼申し上げます。

最後になりましたが、事務局の村上様の年度初め早々の急病にはビックリ致しましたが、すぐに回復され、ひと安堵した事でした。

1999年10月1日 観月会（光と風の教会）



2000年3月24日 職場訪問（たしる少年自然の家）



1999年11月27日～28日 神戸・有馬・宝塚旅行



1999年11月27日～28日 神戸・有馬・宝塚旅行



34

2000年~2001年(H12~H13)
RI会長 フランク・J・デブリン

テーマ「意識を喚起し進んで行動を」

会長 田代喜久夫 副会長 桑園富士夫 幹事 城 健二

〈役員〉 会場監督：藤村克成 会計：野坂文雄
 〈理事〉 田代喜久夫、桑園富士夫、城 健二、井上俊司、菅本国博、有蘭秀昭、浜崎 靖、木村長生、梶原敬史、岩崎員久、荒井俊勝

役員・理事・各委員会構成

委員会及び役職	役員、理事、委員長	委 員
① 会長(理事)	田代喜久夫(役員)	
② 副会長(理事)	桑園富士夫(役員)	
③ 幹事(理事)	城 健二(役員)	
④ 会場監督	藤村 克成(役員)	小田敬介、菱岡紀代志、吉田総次郎
⑤ 会計	野坂 文雄(役員)	
⑥ 会長経験者理事	井上 俊司(理事)	菅本国博(理事)
⑦ 会計監査	神尾 栄一	
① クラブ奉仕委員会	有蘭 秀昭(理事)	桑園富士夫
①出席	望月 康治	益吉英利、江戸達也
②職業分類	石島 靖之	斉藤利美、田中裕昌
③会報	佐藤 信茂	猪狩功司、大谷忠晴、属 将之、中村知輝、安仲 寛
④親睦活動	岸野 玲	伊豆統一郎、稲富靖彦、(江戸達也)、小川誠一郎、古賀雄一、福原勝巳、谷 良樹、(乙木信介)
⑤雑誌	藤原 浩芳	中村一生、森永忠芳
⑥広報	小嶋 一碩	岡本辰美、安武真哉
⑦会員増強	阿部 博明	森 肇、(神尾栄一)
⑧会員選考	村上 俊明	(井上俊司)
⑨プログラム	浜崎 靖(理事)	田仲一雅、菅原康夫、舟木義治、(野坂文雄)
⑩ロータリー情報	末吉 楠雄	佐藤 進、古野宰弘、山崎晋良
⑪健康管理	松永 等	是此田 穰
② 職業奉仕委員会	木村 長生(理事)	永田豊作、鍋島康夫、溝上米吉、(波多野正信)
③ 社会奉仕委員会	梶原 敬史(理事)	安東秀夫、伊東民次郎、高木 昇、橋本篤人、波多野正信
①インターアクト	岩崎 員久(理事)	石田良夫、乙木信介、津上宏樹
②史跡保存	湯野 英輔	村田 充
④ 国際奉仕委員会	荒井 俊勝(理事)	青木博志、池田勝久、田中勇武、服部勝彦
①ロータリー財団	小川 清澄	大林清幸、高田寿美

職業分類、会員増強、会員選考、ロータリー情報委員会は副会長直轄。()は兼任。



2000年10月20日 ガバナー公式訪問



2000年12月22日 忘年家族会(千草ホテル)





会長テーマ「Enjoy Rotary! (ロータリーを楽しもう)」

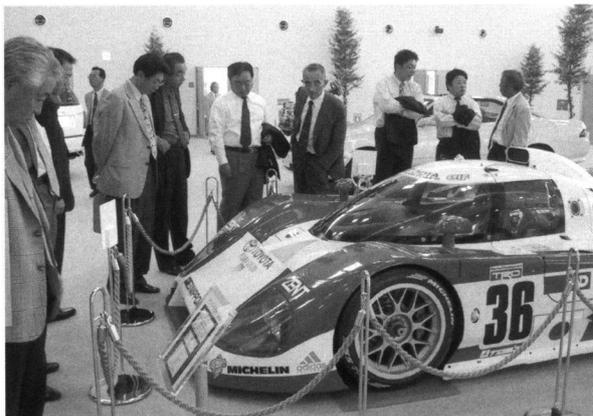
34期会長 田代 喜久夫



八幡西RCの今年度の運営の一つに、魅力ある楽しい例会にする前に「ENJOY ロータリー」つまり“ロータリーライフを楽しもう”という事を掲げ、会員相互の人と人とのつながりを大切に、ロータリーライフを楽しめる例会をと努めて努力をしてきたつもりですが、果たしてどうなるか心配しておりました。新年度発足で突き当たった壁が財政問題であったのです。緊縮予算の為、各委員会を窮屈なものにし、例会が少なからず物足りなかった事は否めず、申し訳なく思っていました。一方、今年度当クラブの二大重点行事でもありましたガバナー訪問及び2700地区第3分区のIMにつきましては、皆様方の協力のお陰で成功裏に終了致しました。

大島ガバナーからは「八幡西クラブの良い雰囲気を守り維持して欲しい」とのお言葉を頂き、感激致しました。又、IMに於けるパネルディスカッションのグレードの高さ、内容の深さは自他共に認めるものでありました。皆様方の協力は勿論、安武実行委員長には会長職を延長された様にご苦勞をお掛け致し深謝致します。又、城幹事に於きましては、黒子に徹して協力頂きました事にはお礼の申しようがございません。この1年間というものは、会員の皆様方から与えられるものが多く、又、私の得たものも多く、大変素晴らしい人生勉強をさせて頂き、まさに神の与えてくれた1年間でございました。

“ENJOY ROTARY”



2001年6月8日 職場訪問 (トヨタ自動車(株)宮田工場)



2001年2月10日 インターアクト委員会
青山女子高(現 星琳高校)の生徒と共に菓子作り



2001年4月6日 観桜会 (千草ホテル)



2001年3月23日 職場訪問 (満上酒造株式会社)

35

2001年~2002年(H13~H14)

RI会長 リチャード・D・キング

テーマ「人類が私たちの仕事」

会長 桑 園 富士夫

副会長 菱 岡 紀代志

幹事 小 川 清 澄

〈役員〉 会場監督：松永 等 会計：渡辺 健
 〈理事〉 桑園富士夫、菱岡紀代志、小川清澄、藤原浩芳、稲富靖彦、橋本篤人、池田勝久、乙木信介、小嶋一碩、中村一生、村上俊明

役員・理事・各委員会構成

委員会及び役職	役員、理事、委員長	委 員
① 会長	桑園富士夫	
② 副会長	菱岡紀代志	
③ 幹事	小川 清澄	
④ 会場監督	松永 等	★岸野 玲、谷 良樹、中山一徳
⑤ 会計	渡辺 健	
⑥ 会計監査	神尾 栄一	
① クラブ奉仕委員会	藤原 浩芳	★菱岡紀代志
①出席	溝上 米吉	★城 健二、★末吉楠雄、★猪狩功司
②職業分類	齊藤 利美	梶原敬史、舟木義治
③会報	石島 靖之	岩崎員久、木村長生、藤村克成、望月康治、吉田総次郎
④親睦活動	江戸 達也	★荒井俊勝、★安東秀夫、★猪狩功司、田仲一雅、★中山勝彦、鍋島康夫、波多野正信、★渡辺 健
⑤雑誌	菅本 国博	★中村一生、田中裕昌
⑥広報	古野 宰弘	森永忠芳、安武真哉
⑦会員増強	小田 敬介	★神尾栄一、★村上俊明
⑧会員選考	石田 良夫	是此田 穰
⑨プログラム	稲富 靖彦	★安東秀夫、井上俊司、田中勇武、湯野英輔
⑩ロータリー情報	佐藤 進	有蘭秀昭、末吉楠雄
⑪健康管理	浜崎 靖	田代喜久夫
② 職業奉仕委員会	橋本 篤人	★荒井俊勝、伊豆統一郎、岡本辰美、★福原勝巳
③ 社会奉仕委員会	池田 勝久	青木博志、菅原康夫、村田 充、安仲 寛、山崎晋良
①インターアクト	乙木 信介	★岸野 玲、★福原勝巳、森 肇
②史跡保存	佐藤 信茂	阿部博明
④ 国際奉仕委員会	小嶋 一碩	属 将之、高木 昇、★中山勝彦、永田豊作
①ロータリー財団	大林 清幸	★城 健二、高田寿美

★は兼務



2001年12月21日 忘年家族会（千草ホテル）



2002年 3月15日 職場訪問（北九州学術研究都市 産学連携センター）



会長テーマ 「Enjoy Rotary ! (ロータリーを楽しもう)」

35期会長 桑 園 富士夫



皆様のご協力で2001～2002年の会長の役目を果たすことが出来ましたこと、厚く御礼を申し上げます。

当該年度のRI会長 リチャード・D・キング氏のテーマは「人類が私たちの仕事」とし、重点課題として「毎月1名の増強」を打ち出されました。第2700地区のガバナー 妹尾隆一郎氏は「反芻しよう」として、ロータリー綱領を基礎とし、それを育成しようと強調されました。

私は、Enjoy Rotary を原点として、①親睦と融和でクラブの活性化、②退会防止と会員増強に努める——財政の健全化、③委員会活動の活性化を取り上げました。

私は先ず、自分の職業に励み確立させ、その上に立ってロータリー活動が成り立つものと考えています。更にロータリーライフを楽しむことによって活動の源泉が生まれます。

振り返りますと、当初より財政面の立て直しという難題があり、「誕生祝品」の廃止など、各委員会の予算減と大変迷惑をおかけしました。そのような状況の中、皆様の各委員会活動が活発になされたことに心より感謝しています。

特に、本年のテーマとしました、会員増強が皆様のご協力によって65名当初のスタートが71名と増強出来ましたこと、大変嬉しく思っています。

思い出として列記しますと、

- ・ 6月7日に当クラブの創立35周年記念の例会
- ・ 4月の例会を、チューリップや菜の花が満開の金山川で行なう。
- ・ 8月に野球同好会が発足
- ・ 9月の観月会を“河内温泉 あじさいの湯”で行なう。
- ・ 職業奉仕者表彰で、高田工業所の村岡勝彦氏

等があり、「活力なくして繁栄なし」各委員会活動に御礼を申し上げます。

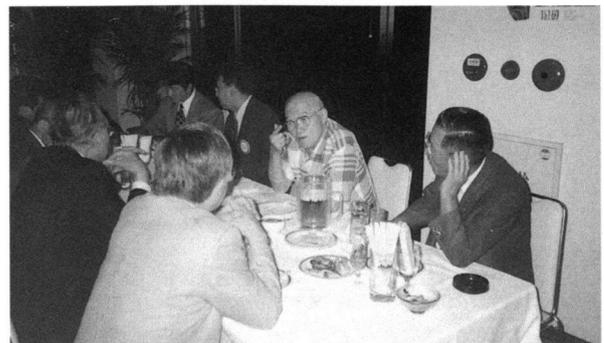
尚、幹事の小川さんをはじめ、皆様のご協力ありがとうございました。



2001年12月21日 忘年家族会 (千草ホテル)



2001年9月28日 観月会 (河内温泉、あじさいの湯)



2001年8月24日 夜間例会 (千草ホテル)

36

2002年~2003年(H14~H15)
RI会長 ビチャイ・ラタクル

テーマ「慈愛の種を播きましょう」

会長 菱岡 紀代志 副会長 稲富 靖彦 幹事 藤原 浩芳

〈役員〉 会場監督：荒井俊勝 会計：渡辺 健
 〈理事〉 菱岡紀代志、稲富靖彦、藤原浩芳、小嶋一碩、菅原康夫、松永 等、大林清幸、
 岸野 玲、高木 昇、是此田 穰、安武真哉

委員会構成

委員会	委員長	委員
クラブ奉仕	小嶋 一碩	★稲富靖彦
出 席	浜崎 靖	石田良夫、江戸達也
職業分類	舟木 義治	梶原敬史、木村長生
会 報	吉田総次郎	岩崎員久、★乙木信介、小田敬介、高嶋雅樹、福原勝巳
親睦活動	猪狩 功司	太田信博、末吉楠雄、菅本国博、中山一徳、福原弘之、 ★藤村克成、村山大成、★諸岡則文
健康管理	村上 俊明	★藤村克成
雑 誌	井上 俊司	村田 充
広 報	中山 勝彦	阿部博明、★小川清澄
会員増強	溝上 米吉	★神尾栄一、★佐藤 進、田仲一雅、永田豊作
会員選考	田中 裕昌	桑園富士夫、森永忠芳
プログラム	菅原 康夫	伊豆統一郎、★属 将之、★田代義剛、田中勇武、山中秀樹
ロータリー情報	有蘭 秀昭	石島靖之、★是此田 穰、★佐藤 進
会場監督	荒井 俊勝	★田代義剛、谷 良樹、★安武真哉、★山下好之、★渡辺 健
職業奉仕	松永 等	★小川清澄、斉藤利美、鍋島康夫、★山下好之
社会奉仕	大林 清幸	岡本辰美、★属 将之、橋本篤人、望月康治、森 肇
インターアクト	岸野 玲	★乙木信介、佐藤信茂、湯野英輔
史跡保存	波多野正信	中村一生
国際奉仕	高木 昇	池田勝久、田代喜久夫、古野宰弘、★諸岡則文、山崎晋良
ロータリー財団	安東 秀夫	青木博志、伊東民次郎
会 計	渡辺 健	
会計監査	神尾 栄一	

★は兼務



2003年5月23日 職場訪問 (株有蘭製作所)



2003年3月7日 職場訪問 (浄土真宗 妙法寺)



会長テーマ「ロータリーの友情と奉仕の原点にもどる」

36期会長 菱岡 紀代志



第36代の会長を拝命したその1年間は、貴重な大切な勉強の機会でした。皆様の協力により何とか無事に務めさせて頂き、感謝しています。

RI会長の「慈愛の種を播きましょう」に深く共感を覚えました。私も「ロータリーの友情と奉仕の原点に戻る」ことを強調し、努めました。この1年間の思い出す行事を列記します。

- 7月7日の甲子園での野球大会
- 9月5日の八幡南RCと合同例会（高本ガバナーの公式訪問）
- 12月20日の忘年家族会
- 4月20日の地区大会

特筆すべき行事は、野球同好会の甲子園初出場と会員と家族による忘年会です。ロータリーの原点はこれら親睦活動による友情だと確信しました。第20回全国ロータリー野球大会に初出場、初勝利は快挙であり興奮しました。その様子は号外「悲願の甲子園」にまとめられました。

恒例の忘年家族会も爆笑につぐ爆笑で盛り上がりました。末吉会員の名司会により、会員と家族の歌あり踊りありの記念すべき忘年会でした。特に松永会員の「ジンギスカン」の踊りは意表をつき驚きました。野球同好会と親睦活動委員会の皆様の活躍に感謝しています。

振り返ってみますと、いろいろの出会いや出来事がありました。米山奨学生として九州国際大学の大学院生の孔 暁 さんをお世話しました。職業奉仕では、K I T Aの江藤郁子さんの表彰。職場訪問では「福原学園」「妙法寺」「有蘭製作所」等がありました。又、健康管理委員会から「健康管理一口メモ集」が配布されました。IDMでは「会員増強」「教育界の現状にロータリークラブは何か出来るか」等取り上げられました。プログラム委員会は幅広く各分野の卓話を準備されました。理事の皆様とは夜間理事会で活発な討議が出来ました。各委員会の支えによる例会が明るく楽しくすすめられたと思います。会員の減少や出席率の低下等、不安なこともあります。私にとってロータリーは人生の大切な修業の場です。明るく楽しく発展されることを願います。



2002年12月20日 忘年家族会（千草ホテル）



2002年12月20日 忘年家族会（千草ホテル）



2002年12月20日 忘年家族会（千草ホテル）



2002年11月29日 職業奉仕者表彰

37

2003年~2004年(H15~H16)

RI会長 ジョナサン B・マジアベ

テーマ「Lend a Hand 手を貸そう」

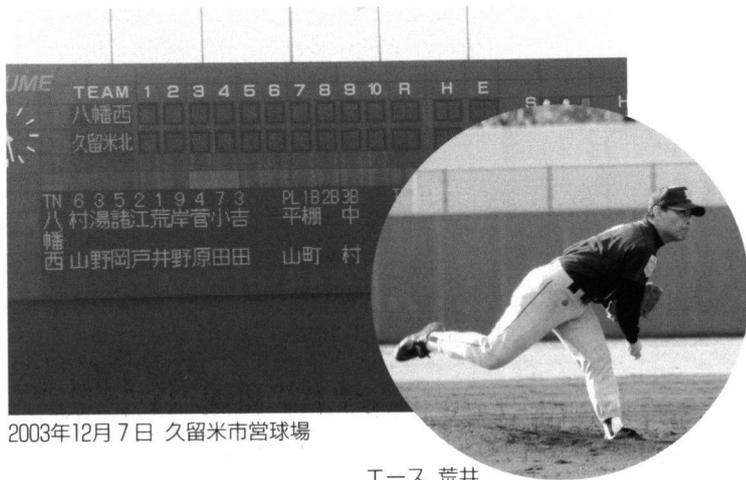
会長 稲富靖彦 副会長 末吉楠雄 幹事 岩崎員久

〈役員〉 会場監督：安東秀夫 会計：磯部道夫
 〈理事〉 稲富靖彦、末吉楠雄、岩崎員久、佐藤進、小田敬介、吉田総次郎、藤村克成、
 浜崎靖、属将之、井上俊司、桑園富士夫

委員会構成

委員会	委員長	委員
クラブ奉仕	佐藤進	末吉楠雄
出席	江戸達也	★菅原康夫、古野宰弘
職業分類	湯野英輔	岡本辰美、★舟木義治
会報	荒井俊勝	太田信博、福原弘之、正本文久、溝上米吉、★村山大成
親睦活動	谷良樹	★磯部道夫、★桑園富士夫、田仲一雅、波多野正信、福原勝巳、望月康治、安武真哉、山下好之
健康管理	高嶋雅樹	★井上俊司
雑誌	伊豆統一郎	★菱岡紀代志
広報	森肇	田代喜久夫
会員増強	木村長生	★岸野玲、田中裕昌、中山勝彦
会員選考	菅本国博	永田豊作
プログラム	小田敬介	池田勝久、田中勇武、★舟木義治、松永等
ロータリー情報	石島靖之	是此田穰、★菱岡紀代志
会場監督	安東秀夫	石田良夫、大林清幸、★小川清澄、★岸野玲
職業奉仕	吉田総次郎	有蘭秀昭、★小川清澄、小嶋一碩、諸岡則文
社会奉仕	藤村克成	齊藤利美、高木昇、藤原浩芳、森永忠芳
インターアクト	浜崎靖	佐藤信茂、田代義剛、★村山大成
史跡保存	鍋島康夫	村上俊明
国際奉仕	属将之	猪狩功司、中村一生、中山一徳
ロータリー財団	乙木信介	★神尾栄一、★菅原康夫
会計	磯部道夫	
会計監査	神尾栄一	

★は兼務



2003年12月7日 久留米市営球場

エース 荒井



2004年5月23日~26日
 国際ロータリー2004年国際大会(大阪ドーム)



会長テーマ「ロータリーの本質に目を向けよう」

37期会長 稲富靖彦



会長としての1年間は私にとって貴重な経験でした。理事の皆さんはじめ会員の一人一人のご支援とご協力に御礼を申し上げます。

2003—2004年の国際ロータリー会長のジョナサンB・マジニアベ氏のテーマは「手を貸そう」です。「あなたのクラブに手を貸そう」「あなたの天職に手を貸そう」「あなたの地域社会に手を貸そう」そして「世界に手を貸そう」。

佃ガバナーのテーマは「ロータリーの本質に目を向けよう」でした。そして八幡西RCにおいては上記のRI会長、地区ガバナーの方針を具現化するために・会員増強5名で年度末73名とする・ロータリー財団への協力・財政の健全化・八幡西RCの細則の見直しとしました。

そして特に強調しましたのが「参加することに意義ある精神」「みんなで大阪国際大会に参加しよう」と訴えました。

1年間を振り返って見ますと、前半の7月に古賀ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会と佃ガバナーの公式訪問があり、後半の5月には大阪の国際大会と第2700地区の地区大会が行なわれ慌ただしく時が過ぎました。

今日顧みますと、厳しい経済情勢であったとはいえ会員増強の難しさを実感しました。RI会長の「あなたのクラブに手を貸そう」の中に「クラブ全会員がグループにとって重要な貢献をするのになくはならぬ一員であることを感じ組織維持に専ら力を集中する」と述べられています。正に会員増強に王道なし。

八幡西RCの基盤づくりとして「クラブ財政の健全化」「クラブ細則の見直し」はそれぞれ特別委員会を設置し、会員の皆さんのご協力を得て成立しました。健全化としての大きな柱は会費の値上げですが、そこで議論されたことは今後とも活かされています。そして細則の見直しで委員会活動のあり方も議論され大変有意義でした。私にとって嬉しかったことは、大阪国際大会に15名の参加を得たことと、責任者全員の出席の地区協議会であり参加することに意義ありの精神にご協力を頂いたことです。

クラブ外のいろいろなRCの行事に参加することは大変ですが、得るものも多く今後も“参加することに意義あり”を活かしていきたいと思えます。

地区大会での細川佳代子さんのスペシャルオリンピックの講演には大変感銘を受けました。

ロータリーを学び、クラブ運営を勉強しました1年でした。

最後に、ご協力頂いた幹事の岩崎会員に御礼を申し上げます。



2003年9月26日 例会（大内義昭氏）



2004年3月5日
米山奨学生 孔 暁鑫さんお別れ会



2003年8月27日 星琳高校 IAC ソフトボール交流試合

38

2004年~2005年(H16~H17)

RI会長 グレン E エステス

テーマ「ロータリーを祝おう」

会長 末吉楠雄 副会長 佐藤進 幹事 吉田総次郎

〈役員〉 会場監督：池田勝久 会計：是此田 穰
 〈理事〉 末吉楠雄、佐藤進、吉田総次郎、浜崎 靖、菅原康夫、高嶋雅樹、池田勝久、
 太田信博、正木文久、山下好之、佐藤信茂、是此田 穰、舟木義治、安武真哉

委員会構成

委員会	委員長	副委員長	委 員
クラブ奉仕	浜崎 靖	佐藤 進	
出 席	藤原 浩芳	有蘭 秀昭	鍋島康夫、★小田敬介
会 報	村山 大成	稲富 靖彦	石田良夫、岩崎員久、桑園富士夫
親睦活動	菅原 康夫	大林 清幸	赤田隆一、伊豆統一郎、★乙木信介、★岸野 玲、 菅本国博、諸岡則文、★湯野英輔
健康管理	谷 良樹	田代喜久夫	
雑誌・広報	田中 勇武	小田 敬介	
会員増強	藤村 克成	福原 勝巳	安東秀夫
職業分類・会員選考	永田 豊作	★湯野英輔	井上俊司
プログラム	高嶋 雅樹	松永 等	田仲一雅、★舟木義治、★安武真哉
ロータリー情報	菱岡紀代志	石島 靖之	★是此田 穰
会場監督	池田 勝久	★江戸達也	猪狩功司
職業奉仕	太田 信博	荒井 俊勝	福原弘之、森 肇
社会奉仕	正木 文久	波多野正信	木村長生、溝上米吉
史跡保存	村上 俊明	中村 一生	森永忠芳
国際奉仕	山下 好之	中山 一徳	斉藤利美、中山勝彦
米山・ロータリー財団	小嶋 一碩	★岸野 玲	望月康治
新世代奉仕 (インターアクト)	佐藤 信茂	★乙木信介	★属 将之、高木 昇
会 計	★是此田穰	★属 将之	
会計監査	神尾 栄一		
副 幹 事	★江戸達也		

★は兼務



2005年4月24日~28日 GSE メンバー受け入れ



2004年8月20日 ポリオ撲滅チャリティ公演(柳亭燕路独演会開催)



会長テーマ「遊びは奉仕だ」

38期会長 末吉 楠 雄



私はロータリークラブ発足100周年記念の年に会長に任命され、大変名誉なことと思います。会員の皆様のご協力に心より感謝致しています。RI会長 グレンE エステル氏のテーマが「ロータリーを祝おう」であり、100周年の3大目標として、①ポリオプラス、②会員増強と退会防止、③財団支援を取り上げられました。第2700地区のガバナー 立花氏は「もっと親しく、もっと近くに」のテーマで「100周年の3大目標を重点に取り組む」でした。

私のテーマとして「遊びは奉仕だ」と致しました。

私は、現在多くの方が孤立する中で、子供に、青少年に、老人に声をかけ遊ぶ事でコミュニケーションをつくるきっかけとする。又、家族においても遊ぶ心をもって触れ合うことで家族の幸福につながる。又それが社会の平和、世界の平和につながるものと考えています。そういう思いから「遊びは奉仕だ」という方針を出しました。

一番大きな出来事は、100周年の記念に当クラブで「落語会」を開催したことです。それは、100周年記念に会員1人150ドルが課せられました。会員に金銭的負担をかけない方法はないかと吉田幹事と思案していた時に、偶然柳亭燕路師匠からそちらに行くのと連絡があり、宜しくとの誘いがありました。

小嶋、山下両会員を筆頭に、関連委員会の皆様にご尽力を頂き、又、チケット販売では皆様のご協力で「落語会」は大成功に終わりました。落語の内容は「なさは人のためならず」でした。

さらに、秋の京都旅行での紅葉狩りと一夜を“一カ”で過ごしたことや、野球同好会の甲子園出場等、良い思い出が出来ました。

尚、クラブ運営では、クラブ奉仕委員長の浜崎会員による3回のIDMやGSEの受入れなど感謝申し上げます。

幹事の吉田君、副幹事の江戸君はじめ、多くの皆様に御礼を申し上げます。



2005年4月15日～17日 地区大会（柳川）



2004年11月20日～21日 京都旅行（“一カ”にて）



2005年3月 社会奉仕委員会
北九州西部障害者福祉会へ車椅子寄贈



2004年12月12日 久留米球場（ガバナー杯）



2004年10月15日 職業奉仕者表彰

39

2005年~2006年(H17~H18)
RI会長 カール・ウィルヘルム・ステンハマー

テーマ「超我の奉仕」

会長 佐藤 進 副会長 石島 靖之 幹事 小田 敬介

〈役員〉 会場監督：江戸達也 会計：是此田 穰
 〈理事〉 佐藤 進、石島靖之、小田敬介、江戸達也、是此田 穰、大林清幸、太田信博、
 岩崎員久、荒井俊勝、波多野正信、菅原康夫、村山大成、菅本国博、菱岡紀代志

委員会構成

委員会	委員長	副委員長	委 員
クラブ奉仕	大林 清幸	石島 靖之	
出席	小嶋 一碩	★赤田隆一	★坂本敏弘
会報	正木 文久	谷 良樹	★赤田隆一、藤村克成、池田勝久
親睦活動	太田 信博	稲富 靖彦	★坂本敏弘、諫山了二、★菅本国博、猪狩功司、片岡洋一、福原勝巳、★湯野英輔、野口和博
健康管理	井上 俊司	村上 俊明	
雑誌・広報	安東 秀夫	田代喜久夫	中山勝彦
会員増強	舟木 義治	中村 一生	★菱岡紀代志
職業分類・会員選考	有蘭 秀昭	★伊豆統一郎	森 肇
プログラム	岩崎 員久	★湯野 英輔	斉藤利美、高木 昇、★伊豆統一郎、末吉楠雄
ロータリー情報	浜崎 靖	鍋島 康夫	永田豊作
会場監督	江戸 達也	松永 等	★安武真哉、★吉田総次郎
職業奉仕	荒井 俊勝	乙木 信介	田仲一雅
社会奉仕	波多野正信	高嶋 雅樹	桑園富士夫
史跡保存	属 将之	溝上 米吉	森永忠芳
国際奉仕	菅原 康夫	★安武 真哉	諸岡則文
米山・ロータリー財団	藤原 浩芳	福原 弘之	中山一徳
新世代奉仕 (インターアクト)	村山 大成	★吉田総次郎	佐藤信茂、★岸野 玲
会計	是此田 穰	望月 康治	
会計監査	神尾 栄一		
副幹事	★岸野 玲		
会長経験者・無任所			★菅本国博、★菱岡紀代志

★は兼務



2005年12月11日 久留米市民球場 (ガバナー杯)



2005年12月14日 忘年家族会

会長テーマ「クラブライフを楽しもう」

39期会長 佐藤 進



八幡西RC創立40周年おめでとうございます。

私が会長を務めさせて頂いた昨年度は、この創立40周年記念事業の準備の年でした。しかし、40周年の準備については、井上実行委員長、石島会長（昨年度副会長）におまかせで、私は何もしていません。すみません。

昨年度は又、石島会長年度に入った直後（7月）に行なわれた2700地区インターアクト指導者講習会の準備の年でもありました。この準備については星琳高等学校のインターアクトクラブの皆さん、顧問の先生方とともに、ほぼ1年がかりで取り組みました。八幡西クラブからも村山実行委員長をはじめ、小田幹事、石島副会長、赤田会員、岸野会員、正木会員、小嶋会員、その他多くの会員が準備に参加し、打ち合わせを重ねて講習会当日に備えました。私も打ち合わせやりハーサルに参加し、又、小嶋会員とともに2日目の講演・パネルディスカッションを担当しましたので、当日星琳高等学校のインターアクトクラブの生徒さん達が期待以上に立派にやり遂げてくれたことにはささか感動しました。

この他に楽しく思い出すのは、春の京都旅行でしょう。4月15・16日、京都のしだれ桜を満喫した旅でした。又、“都をどり”と“一力”での宴会は、一生ものの楽しさでした（また行きたい）。

桜を求めて臨機応変の伊豆先生のツアーコンダクターぶりには全く脱帽と言うほかありません。

振り返ってみれば、月並みですがあっと言う間の1年だったような気がします。歴代会長の中では最も記憶鮮明でなければならないのですが、実のところ既に記憶は茫々として何か夢か幻かというような状態です。楽しかった京都旅行のことしか思い出さないというのはお恥ずかしい次第ですが、まあこれで良いのではないのでしょうか。

2006年4月15日～16日 京都旅行（一力にて）



2005年9月16日 観月会（料亭旅館 はつしろ）

40

2006年~2007年(H18~H19)
RI会長 ウィリアム B ボイド

テーマ「率先しよう」

会長 石島 靖之 副会長 大林 清幸 幹事 赤田 隆一

〈役員〉 会場監督：藤原浩芳 会計：属 将之
 〈理事〉 石島靖之、大林清幸、赤田隆一、波多野正信、正木文久、安東秀夫、藤原浩芳、
 中山一徳、浜崎 靖、岸野 玲、吉田総次郎、属 将之、井上俊司、末吉楠雄

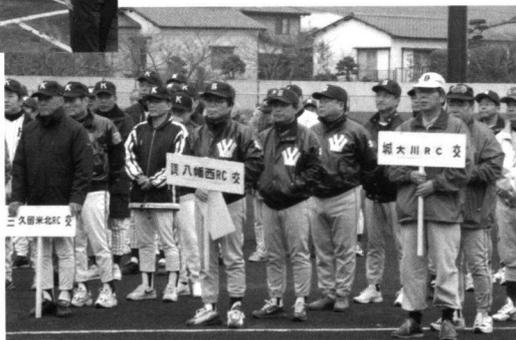
委員会構成

委員会	委員長	副委員長	委 員
クラブ奉仕	波多野正信	大林 清幸	
出 席	荒井 俊勝	★乙木信介	伊豆統一郎
会 報	太田 信博	高嶋 雅樹	★緒方 忠、★坂本敏弘、★福原勝巳
親睦活動	正木 文久	岩崎 員久	★緒方 忠、諫山了二、★坂本敏弘、★野口和博
健康管理	是此田 穰	村上 俊明	
雑誌・広報	池田 勝久	猪狩 功司	永田豊作
会員増強	松永 等	江戸 達也	田仲一雅
職業分類・会員選考	森 肇	有菌 秀昭	斉藤利美
プログラム	安東 秀夫	小嶋 一碩	佐藤 進、舟木義治、湯野英輔
ロータリー情報	菅本 国博	★稲富靖彦	菱岡紀代志
会場監督	藤原 浩芳	藤村 克成	★稲富靖彦、★野口和博
職業奉仕	中山 一徳	末吉 楠雄	望月康治
社会奉仕	浜崎 靖	佐藤 信茂	菊池 裕、桑園富士夫
史跡保存	高木 昇	田代喜久夫	
国際奉仕	岸野 玲	福原 弘之	中村一生
米山・ロータリー財団	安武 真哉	溝上 米吉	★菅原康夫
新世代奉仕 (インターアクト)	吉田総次郎	村山 大成	小田敬介、乙木信介
会 計	属 将之	★福原勝巳	
会計監査	神尾 栄一		
副 幹 事	★菅原康夫		

★は兼務



2006年9月 小倉中央RCと練習試合
(北九州市民球場)



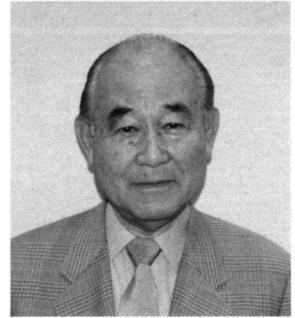
2006年12月 久留米球場
(ガバナー杯)



2006年11月10日 柳亭燕路 落語独演会
(千草ホテル)

会長テーマ「八幡西ロータリークラブを祝おう！」

40期会長 石島 靖之



当期は、大きな節目の40周年の年であり、この歴史と伝統のある当クラブの40代目の会長を務めたことを大変光栄に思います。

テーマとして「八幡西ロータリークラブを祝おう！」と掲げ、創立40周年を迎えた年度として全ての事業を楽しく行なうこととしてスタートしました。皆さんの熱心なご協力次第で次の50周年につないでいく記念の年になりました。

- ・2006年7月29日～30日 星琳高等学校インターアクトクラブがホスト校となって「RI2700 地区インターアクト指導者講習会(テーマ：自分にはないものを見つけよう)」を開催し、ホストロータリークラブとして務めた。
- ・社会福祉法人北九州八幡西区社会福祉協議会のボランティア代表の理事として浜崎社会奉仕委員長が参加。“撥川をきれいにする会”に協賛、“NPO法人帆柱自然公園愛護会”に賛助寄付、佐藤信茂会員が参加している“いのちの電話”にも賛助寄付を行なった。
- ・2007年2月2日委員会の統合が行なわれた。(17委員会を10委員会に)
- ・2007年2月10日、2700地区第3グループIM、パネルディスカッション方式で実施。当クラブは「新世代奉仕委員会」を担当。
- ・2007年2月17日、創立40周年記念事業の一つとして、内祝い会として会員・家族の参加で祝宴を開催。翌18日は、記念ゴルフ会及び観劇会を行なった。
- ・2007年3月10日、明星大学の高橋史朗教授を招き、演題「親を育てる」の記念事業講演会を開催した。
- ・記念事業として、本市の新政策「ビジット インダストリー」(にぎわいのまちづくり)推進の一翼を担うため、“北九州風景街道”のホームページを制作、社団法人北九州観光協会へ寄贈。
- ・本会40年間の歴史を綴った記念誌を制作。
- ・2007年5月19日、創立40周年記念式典・祝宴を開催。

インターアクト指導者講習会は好評を得て、引き続き記念行事も井上実行委員長を中心に全員参加の体制で取組み、順調に成果を上げることが出来ました。

会員増強など課題も残しましたが、さすが40年の歴史と伝統の底力を実感致しました。

クラブ活動を盛り上げて頂いた皆さんに感謝申し上げます。幹事の赤田さん、有難うございました。



2006年8月4日 夜間例会



2006年7月29日～30日 インターアクト指導者講習会



2006年12月14日 忘年家族会



- * 1997～98年 平成10年 4月4日(土)、5日(日)「京都都をどりと枝垂れ桜の旅」
- * 1998～99年 平成10年11月22日(土)、23日(日)「吉備路の紅葉紀行」
- * 1999～00年 平成11年11月27日(土)、28日(日)「宝塚・有馬・神戸の旅」
- * 2000～01年 平成13年 4月28日(土)～30日(月)「玉造・山陰の旅」
- * 2004～05年 平成16年11月20日(土)、21日(日)「京都紅葉を楽しむ旅」
- * 2005～06年 平成18年 4月15日(土)、16日(日)「京都桜を楽しむ旅」

10年間を回顧してみるとその間に有馬宝塚、吉備路、松江出雲、京都春2回、秋1回旅している。この会は加瀬康一会員亡き後、阿部博明会員が世話をしてくられた。1998年京都旅行の後、阿部会員は病に倒れられ、そして逝去された。その前後4～5年間は休会状態であったが、2004～05年末吉会長の時に旅行会を復活させようとの強い要望があり、その世話を私にと依頼された。熟慮の末、私が案内出来ると思う京都の春か秋に限ってなら引き受けてもよいだらうと腹を決めた。加瀬会員の博識、阿部会員の実行力には到底及ばないが、京都の春秋に写真撮影に通って得た土地勘を生かそうと思った。そして、加瀬、阿部会員をはじめ多くの先輩会員から学んだことの万分の一でも現会員にお返し出来れば良いのではないかと考えた。

京都、春の桜、秋の紅葉の美しさには目をうばわれる。それは古都の持つ歴史と文化そして人によって支えられてきたと思う。祇園で食事をする時には、日本の食文化の奥深さを味わい、舞妓さん、芸妓さんに目をうばわれ、酒に酔うだけではなく、その芸の深さを鑑賞し、これら京都に引き継がれている日本の「美」が時代の波に吞まれ衰退の一途をたどっていることを認識し憂慮されたとするならば私の役目の一部は終わったと考えている。

この旅行会が会員有志によって引き継がれ、ますます盛大に催されることを願っている。
(文責 伊豆会員)



平成13年
4月28日(土)～30日(月)
「玉造・山陰の旅」

平成16年
11月20日(土)～21日(日)
「京都紅葉を楽しむ旅」

平成18年
4月15日(土)～16日(日)
「京都桜を楽しむ旅」




ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は、当クラブで最も古くからある同好会の1つである。年間5～6回のコンペを行っており、舌戦あり、足の引き張り合いあり、とは言いながら、毎回和気あいあい楽しんでる。毎年度6月には、会長杯取り切り戦があり、優勝目指して一同競い合っている。



- * 1997～98年度 会長杯取り切り戦
「玉名C・C」 優勝者：属 将之氏
- * 1998～99年度 会長杯取り切り戦
「佐賀クラシックC・C」 優勝者：吉田総次郎氏
- * 1999～00年度 会長杯取り切り戦
「宇部セブンツウC・C」 優勝者：稲富 靖彦氏
- * 2000～01年度 会長杯取り切り戦
「筑紫C・C」 優勝者：末吉 楠雄氏
- * 2001～02年度 会長杯取り切り戦
「下関ゴールデンC・C」 優勝者：江戸 達也氏
- * 2002～03年度 会長杯取り切り戦
「熊本空港C・C」 優勝者：稲富 靖彦氏
- * 2003～04年度 会長杯取り切り戦
「佐賀若木C・C」 優勝者：大林 清幸氏
- * 2004～05年度 会長杯取り切り戦
「玉名C・C」 優勝者：波多野正信氏
- * 2005～06年度 会長杯取り切り戦
「古賀C・C」 優勝者：赤田 隆一氏



囲碁同好会

囲碁同好会は歴史がある。1978年(昭和53年)7月に発足しています。当時は、毎週金曜日に同好会が開かれていました。各年度の優勝者を決め、楽しまれていました。

現在、舟木2段を筆頭に少人数となり、今後の充実が期待されています。
(文責 江戸会員)



八幡西RC野球同好会誕生秘話

2001～2002年の当クラブ組閣がなされ、新会長の下、各委員会張り切ってスタートを切った。早速各委員会ごとの炉辺会議が開催され、親睦委員会の席上での事、今年1年間の活動予定、委員長の方針等の話を終え、乾杯。盃を重ね皆上々の気分。「ゴルフも楽しいけれど、皆と一緒に楽しめるような事があったら親睦も深まりますね」この一言がよもやこの様な大事になろうとは。「皆でやると言えば野球ですね」「ロータリーには甲子園で全国大会もあるらしいよ」「いいねー」酒の勢いも借りて、委員長以下大変乗り気。とはいえあくまで酒の席での話。のつもりが次の例会で野球同好会結成の意志を会員に伝えたところ、思わぬ好感触を得て、次回理事会では、「何でも先ずやってみなければ」と言う会長経験者の一言であっさり承認。あれよあれよと言う間に「八幡西RC野球同好会」が8月3日に結成された。
(マネージャー 波多野正信)

第1回甲子園出場 (2002年7月7日)

八幡西RC 対 京都洛北RC (京都府)
17対1で勝利!!



第2回甲子園出場 (2005年5月29日)

八幡西RC 対 豊田中RC (愛知県)
12対4で勝利!!





写真 同好会



本会は、昭和56年8月に、写真好きの会員により結成され、最盛期には12名を超える会員の参加があった。写真家の故 大貝 賢会員を師匠として、撮影会を開いたり、旅行会の際に撮った作品などで展示会を催したこともあった。又、忘年家族会では、チャリティーオークションに作品を提供し、売り上げに協力をした。

大貝会員は、100歳の老人を撮り続け、その作品を記念に贈って喜ばれ、1984～85年、地区年次大会で特別表彰を受けられた。又、故 阿部博明会員は、写真集「浪漫紀行」を発刊した。

ここ数年来、同好会会員の逝去、退会等により活動は下火となっていたが、この40周年記念誌の表紙を飾るため、「祭」、「八幡の自然」をテーマとした作品展を企画し、作品を募集したが応募者が少なく、作品展を開くまでには至らなかった。

近年デジタルカメラの普及により、写真を撮る手段は多岐となってきたので、今後さらに若い会員の参加協力を願って、会を盛り上げていきたいと願っている。 (文責 伊豆会員)



井上会員撮影「皿倉山」



伊豆会員撮影「黒崎祇園」

マラソン 愛好会



赤田 隆一

- ・新北九州空港マラソン (H18. 2. 5)
ハーフマラソン 1時間47分
- ・鱒淵マラソン (H18. 10. 29)
フルマラソン 4時間57秒
- ・宇部市くすのきマラソン (H19. 3. 18)
フルマラソン 3時間50分51秒



小田 敬介

- ・鱒淵マラソン (H18. 10. 29)
ハーフマラソン 1時間49分25秒
- ・海の中道はるかぜマラソン (H19. 4. 8)
ハーフマラソン 1時間46分45秒

麻雀 同好会



行事記録

2000～2001年度 国際ロータリー第2700地区 第3分区

インターシティ・ミーティング

日 時：2001年2月3日(土)

会 場：北九州八幡ロイヤルホテル

テーマ 「21世紀のロータリー ―新世代への取組み」

2000～2001年度のI・Mは、当クラブの是此田会員がガバナー補佐に就任され、当クラブがホストクラブを務めることになりました。

当日は大島ガバナーをはじめ、大屋バストガバナー、片岸バストガバナー、そして第3分区8クラブの皆様の参加を頂きました。特に八幡の3クラブの全員登録のご協力に感謝しています。

メインテーマを「21世紀のロータリー」とし、サブテーマを「新世代への取組み」と掲げました。大島ガバナーより、社会問題としてクローズアップされている青少年問題を取り上げたことを評価され、大屋バストガバナーは新世代への取組みで教育問題を取り上げていることは素晴らしい効果があったと講評されました。講演者の風間 健氏の「親が悪い！」は熱気のこもった実践的な内容で、参加した皆様に強烈な印象を与えました。パネルディスカッションは、コーディネーターの小嶋会員の素晴らしい進行のもと、教育界の現状にロータリーはどう行動するかが問われました。教育問題は常に新しい課題であり、日本の国としての取組みの必要性が問われています。

21世紀のロータリーのなすべき課題として、青少年の教育を取り上げる必要性を感じています。最後になりましたが、I・Mに携わった皆様に感謝しています。

実行委員長 安武 真哉



パネルディスカッション「教育界の現状にロータリーはどう行動するのか」



▲ 講師 風間 健氏



行事 記録

ポリオ〈小児マヒ〉撲滅 チャリティ公演

日時：2004年8月20日(金)
会場：新日鐵労働会館
内容 「柳亭燕路 独演会」

ポリオ〈小児マヒ〉のない世界を目指して

1985年、「ロータリー100周年の2005年までにポリオのない世界を」という目標を掲げて、国際ロータリークラブは、世界の子供たちにポリオワクチンを投与する支援を約束しました。世界的ポリオ撲滅計画が着手された1988年以来、数百万のロータリーボランティアが資金を集め、経口ワクチンの運搬、社会的な動員を支援してきました。そして現在ポリオ撲滅の最終目標を達成するために、更に米貨10億ドルの寄付が必要とされています。

八幡西RCもこの運動に参加するために本公演を企画し、余剰金をポリオ撲滅のために寄付することにしました。

2004~2005年会長 末吉 楠雄

ポリオ〈小児マヒ〉撲滅チャリティ公演
柳亭燕路 独演会
■情けは人の為ならず■
平成16年8月20日(金) 午後7時開演(6時30分開場)
本戸銭：前売9,000円(当日12,000円)
場所：新日鐵八幡労働会館 全席番付座

一、締結と密着の踊り 柳亭 こみち
一、お家(古典落語) 柳亭 燕路
ゆ入り 柳亭 燕路
一、人情囃(囃子) 柳亭 燕路

主催 八幡西ロータリークラブ
八幡西ロータリークラブ事務局
〒817-0001 八幡西 末吉町
☎ 093.681.0694 村上真雄



◀柳亭 燕路師匠



柳亭 こみちさん▶



◀開演前の受付風景

▼独演会記念撮影



「柳亭燕路さんって、本当に上手なのね!」。公演終了後、会場を出られる会員の奥様からお声がかかりました。国際ロータリー100周年を祝っての重点活動として、“ロータリー財団支援”が掲げられ、末吉会長のアイデアで取り組んだ今回のチャリティ公演は、オリンピックのさなか動員が不安でしたが、客席の約6割が埋まりホッとしました。なかんずく公演中終始絶えなかった会場いっぱいの笑い声に、公演の成功を確信することが出来ました。今回の公演を通して、多くの市民の皆さんに、単に落語を楽しんで頂いただけでなく、ポリオ撲滅の重要性をご理解頂き、合わせてロータリー活動の一端を知って頂くことが出来たことは重要な成果だと思います。

チケットの販売にご協力頂いた全会員の皆さん、裏方を引き受けて頂いた実行委員の皆さん、ご協力有難うございました。お疲れ様でした。(又やりませんか? いやですか?!)

実行委員長 小嶋 一碩

行事 記録

2006～2007年度 国際ロータリー第2700地区

インターアクト指導者講習会開催

日 時：2006年7月29日(土)・30日(日)

会 場：北九州プリンスホテル・穴生ドーム

テーマ 「指導者講習会に参加して自分にはないものを見つけよう」

2700地区のインターアクト指導者講習会が皆さんの協力で無事終了しました。ホストクラブの星琳高校 I A Cと校長をはじめ、顧問の先生の熱心な努力により開催されました。私たち八幡西 R Cがホストロータリークラブとしてこの講習会の準備に努めました。

この大会には、来賓の方々と福岡県内32校の I A Cとそれぞれの R Cの皆様、総勢250名が参加されました。統一テーマとして「指導者講習会に参加して自分にはないものを見つけよう」と定め、指導者としての資質向上を目指しました。

石島会長は、ご挨拶で「自分にはないものを見つけよう」ということは「自分自身を見直すことである」と強調され、この講習会で良い仲間と友人を作って下さいと話されました。

大会プログラム1日目は、式典のあと穴生ドームにおいて「やまびこの会」の皆さんの献身的なボランティアで、風船バレーボールを体験し、夜はプリンスホテルにてカルタ大会が行なわれました。2日目は「となりの人はだれですかーそこから始まる国際理解」を全体テーマとして、講演会とパネルディスカッションが行なわれました。参加された皆様に高い評価を頂き、ブラジルの移民の歴史や日本文化を振り返る貴重な勉強の場になりました。中村パストガバナーより「完璧なイベント」だったと、そして原田ガバナーより「近代史の勉強の必要性を感じた」と講評を頂きました。

参加されたインターアクトの皆様が、自分に自信を持ってしっかりと未来へ挑戦されることを期待しています。

実行委員長 村山 大成



▼風船バレーボール



▲カルタ大会



▶石島会長挨拶



▶パネルディスカッション



行事 記録

2004～2006年度 国際ロータリー第2700地区と第5170地区

Group Study Exchange (研究グループ交換)

日程：2005年4月24日(日)～28日(木)

ホストファミリー：湯野会員、小田会員

ロータリー創立100周年を記念して、カリフォルニア5170地区と2700地区のGSEが行なわれました。ロータリーは国際理解に努め、世界平和を目指しています。

Joan Perryさんをリーダーとする一行5名を迎えました。

八幡西RCは、平成17年4月24日(日)～28日(木)に、Monica KollreさんとAntonio Vergesさんのお二人のホームステイのお世話を引き受けました。

立花パストガバナー及び廣畑パストガバナーは、平和の架橋として立派な成果が上がり、素晴らしいGSEであったと評価されています。

●モニカさんを迎えて／湯野英輔

GSE委員の皆様お疲れ様でした。初めてのホストファミリー経験でしたが、委員の皆様、又同クラブの皆様のご支援を頂き、無事4日間の大役が務まりました事を感謝し、御礼申し上げます。短い4日間のステイで存分なお世話が出来なかった事、申し訳なく思っています。その内でもステイ1日目の夜の藤原、正木両会員ご夫妻を招いてのモニカ・コーラーさんを囲んでの団欒(正木会員の素晴らしい通訳付)、3日目の小嶋会員(千草ホテル)宅でのアントニオ君、モニカさん両ステイ先家族合同での夕食会(和食)は、日本語、英語が見事にかみ合ったとても楽しいひと時でした。特に一番心配していました食事も、刺身、納豆、味噌汁、寿司が好物には驚きました。幸い、当方が寿司店を営んでますので、最後は存分に寿司、刺身を堪能して頂きました。

ただし、言葉に関しては全て家内に頼りっぱなしで(小・中学生程度の語学力?)私とのコミュニケーションが出来なかったのが(二人きりの時はただ顔を見合わせてニコッと笑顔だけ)残念でした。とにかく、4日間、短いようで永かった大変楽しい経験を与えて頂き、ありがとうございました。家内共々感謝致しています。又、チャンスがあればチャレンジしたいと思えます。



モニカ、家内(当店にて)



●アントニオとの4日間／

小田敬介・孝子・将太・一徹・勝也

前日の予定が大幅に遅れたアントニオが我が家にやっと到着したのは、夜中の12時を少し過ぎた時間でした。出迎えに待ちくたびれた家族は眠たい目をこすりながらアントニオの山のような荷物を我が家に運び入れました。最初はいったいどうなることかと思いましたが、ホームステイの4日間はとても楽しく、あっという間に過ぎていきました。我が家の3人の息子達(高2・高1・中3)にとっても刺激ある4日間でした。「NASAからパイロットがやって来る」という緊張した気持ちと英語で会話しないとイケないというプレッシャーがあったようですが、アントニオ自身が26歳で息子達と年齢が近く、気のいい兄貴のような感じですぐに友達のようにな

ていました。アントニオは持参しているCDを取り出し、我が家のパソコンの画面上でカリフォルニアでのパイロットの活動風景や自分の家族の写真をたくさん見せてくれたりして、どのような環境から来日したのかがよく分かりました。会話は当然英語なのですが、全員英会話は得意でないため英単語をただ単に並べるだけで、あとは身振り手振りでのコミュニケーションでした。息子達は、自分達がもしカリフォルニアに行ったらアントニオの操縦する飛行機に乗せてもらう約束を取り付けていました。

The 40th anniversary
YAHATA WEST ROTARY CLUB



クラブの沿革と現況

1. 創 立 1967年6月2日

2. 地域限界

- ・北九州市八幡西区の全域
- ・人口、北九州市全体の人口991,281名（男性465,602名、女性525,679名）のうち、八幡西区の人口259,571名（男性122,486名、女性137,085名） 平成18年5月現在

3. 事務局及び例会

- ・事務局 〒805-0061 北九州市八幡東区西本町1-1-1 千草ホテル内
TEL (093)681-0694、FAX (093)681-0984
E-mail rc-yahatanishi2700@themis.ocn.ne.jp
- ・例 会 例会日；毎週金曜日、12時30分～13時30分
例会場；千草ホテル会議室、TEL (093)671-1131

4. 歴代会長及び幹事

初代	会長：桑原 英雄	幹事：和田 正吉	21	会長：村田 充	幹事：国武 元記
2	〳 宮原 林	〳 秋吉 三郎	22	〳 岡本 辰美	〳 園田 裕孝
3	〳 秋吉 三郎	〳 吉田 笹記	23	〳 永田 豊作	〳 神尾 栄一
4	〳 加瀬 康作	〳 貫 豊輝	24	〳 土岐 弘毅	〳 波多野正信
5	〳 和田 正吉	〳 三原 博	25	〳 伊豆統一郎	〳 安武 真哉
6	〳 大庭九一郎	〳 末松 俊夫	26	〳 鍋島 康夫	〳 舟木 義治
7	〳 属 将夫	〳 村田 充	27	〳 神尾 栄一	〳 徳永 晃久
8	〳 加瀬 康一	〳 和田 正吉	28	〳 石田 良夫	〳 樋口 寿郎
9	〳 榊原 剛	〳 矢野 的男	29	〳 舟木 義治	〳 荒井 俊勝
10	〳 阿部 博明	〳 岩野 二郎	30	〳 井上 俊司	〳 属 将之
11	〳 橋本 勝之	〳 中村 一生	31	〳 是此田 穰	〳 稲富 靖彦
12	〳 真鍋 良金	〳 西原 豊	32	〳 菅本 国博	〳 江戸 達也
13	〳 大庭九一郎	〳 城 健二	33	〳 安武 真哉	〳 安東 秀夫
14	〳 山崎 晋良	〳 高田 寿美	34	〳 田代喜久夫	〳 城 健二
15	〳 貫 豊輝	〳 諸永 光雄	35	〳 桑園富士夫	〳 小川 清澄
16	〳 村上 俊明	〳 岩崎 静馬	36	〳 菱岡紀代志	〳 藤原 浩芳
17	〳 八木下和郎	〳 土岐 弘毅	37	〳 稲富 靖彦	〳 岩崎 具久
18	〳 高田 寿美	〳 石田 良夫	38	〳 末吉 楠雄	〳 吉田総次郎
19	〳 岩野 二郎	〳 鍋島 康夫	39	〳 佐藤 進	〳 小田 敬介
20	〳 中村 一生	〳 伊豆統一郎	40	〳 石島 靖之	〳 赤田 隆一



5. 会員状況

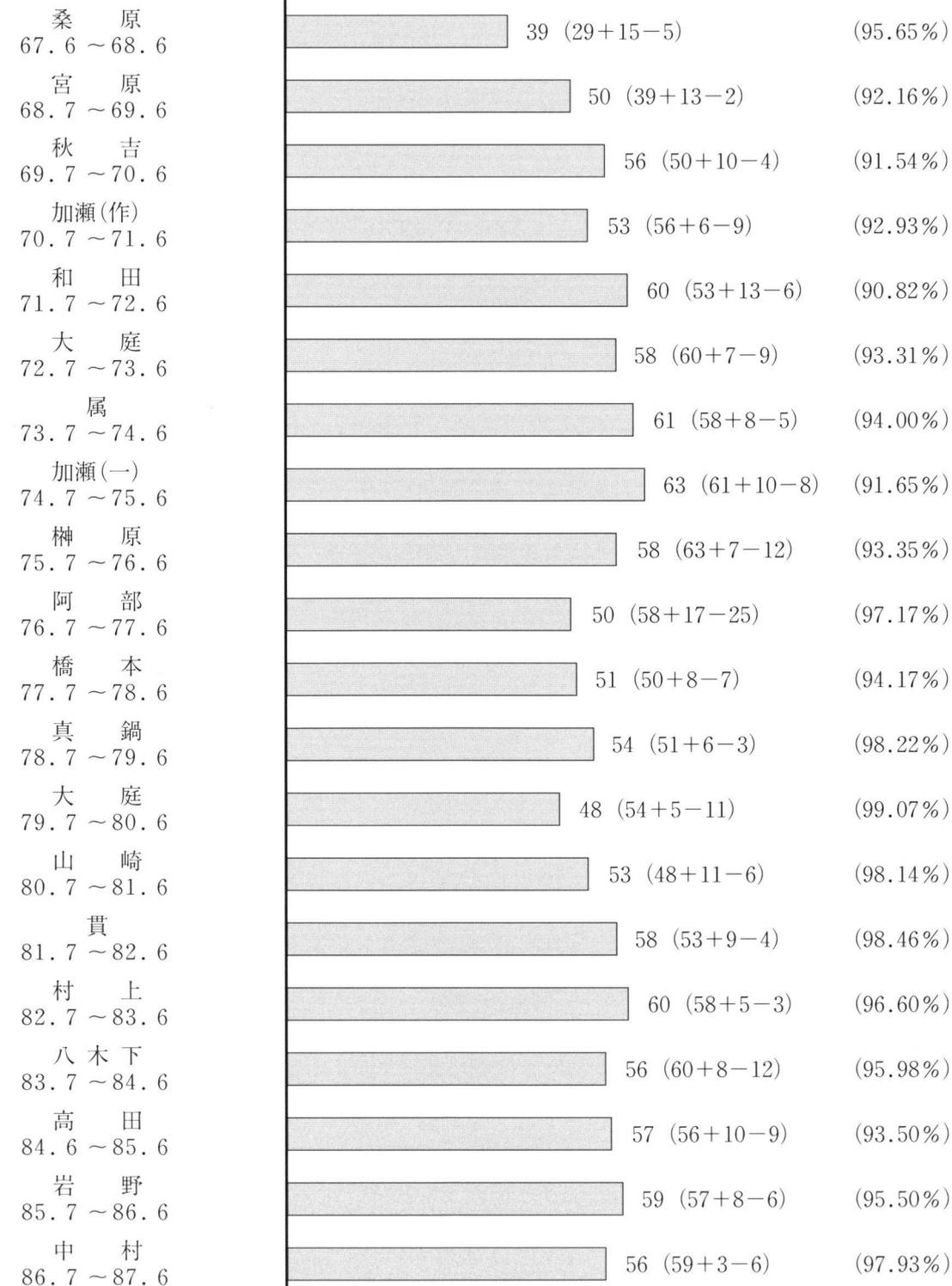
(1) 年 度 始

58名

(2) 年度会員の推移

(3) 出 席 率

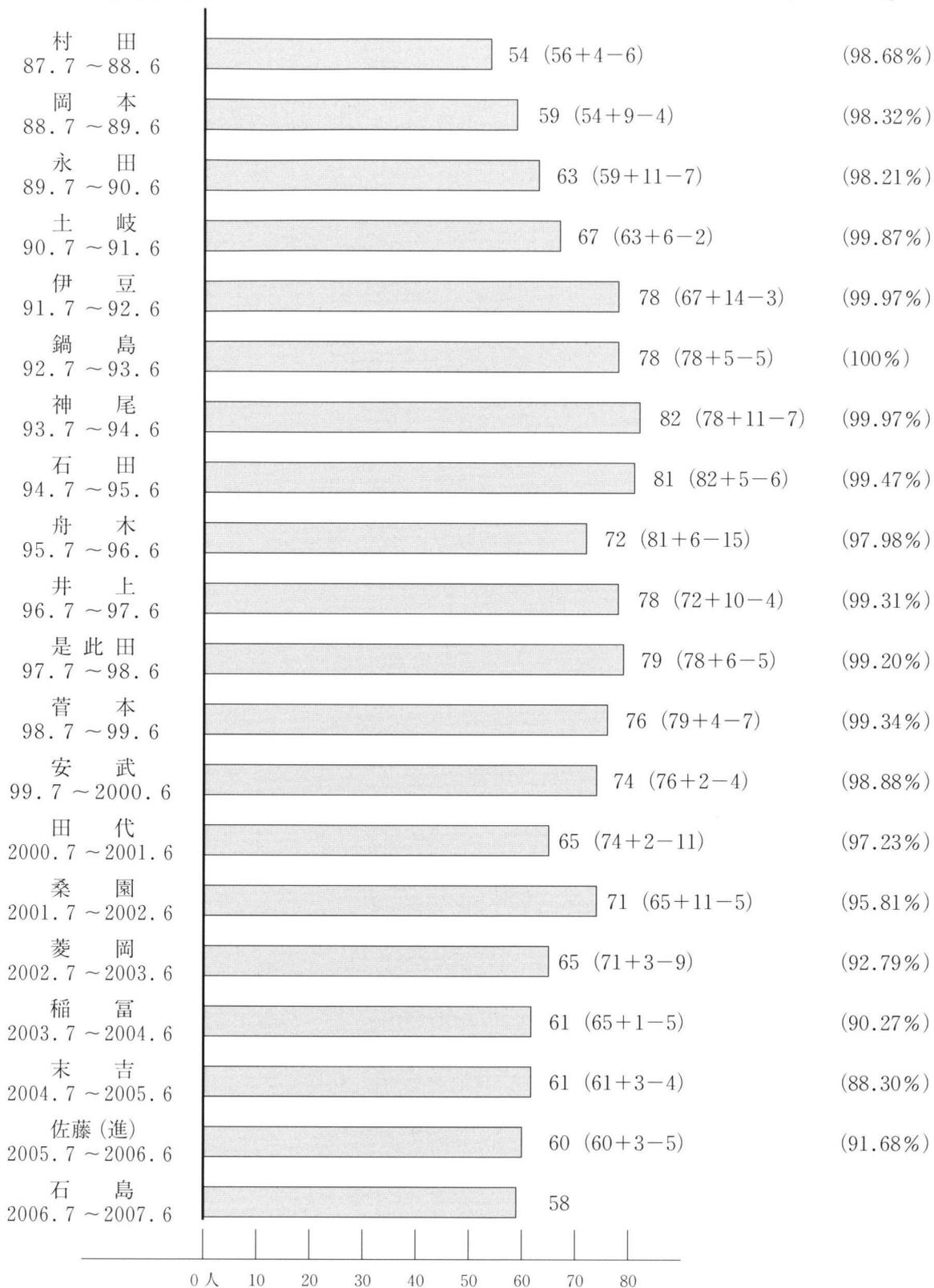
チャーターメンバー



0人 10 20 30 40 50 60 70 80

(2) 年度会員の推移

(3) 出席率



6. 会員の種類 正会員 58名

7. 会員年令

最年長者 86歳 最年少者 40歳 平均 61歳

・平成18年4月、第2700地区地区大会（福岡）出席会員 21名 家族 3名



クラブ活動について

- 1. ガバナー公式訪問日程** 平成18年10月27日 (金)
例 会 12:30~13:30 (八幡南 RC と合同例会)
会長・幹事との懇談会 13:40~14:40 (海の見える迎賓館にて開催)
- 2. ガバナー補佐公式訪問クラブ協議会日程** 平成18年10月13日(金) 13:45~15:45
- 3. 理 事 会**
定例理事会は毎月1回、原則として第1例会日の例会終了後に開催する。重要事項がある時は、臨時理事会を開催する。
理事会の議決事項は、週報に掲載し、又は例会にて発表する。
(理事会には役員も出席する)
- 4. 臨時総会・年次総会**
 - (1) 臨時総会は、年次総会開催日の1ヶ月前に開催し、次年度副会長を選挙する。
 - (2) 年次総会は、12月の第2例会日に開催し、総会で次年度の理事を選出(決定)する。
- 5. 例 会**
例会は毎週金曜日12時30分より13時30分の間に行なう。
前半30分は定められた議事を行ない、後半30分は卓話等を実施する。
- 6. クラブ協議会(クラブアッセンブリー, Club Assembly)**
 - (1) 年度初め(7月)に、本年度活動計画(年間目標)の要約について協議する。
 - (2) 地区ガバナー公式訪問日2週間前に行なう。
 - (3) 1月に、年度活動計画(目標)に対する実績と未達成分について検討する。
(前半期の反省と後半期の努力目標について全員に通達する)
 - (4) I・M終了後に行なう。
 - (5) RI D2700地区大会(4月)終了後、内容報告を行なう。
 - (6) RI D2700地区協議会(5月)終了後、内容報告を行なう。
 - (7) 年度末(6月)に、本年度の実績を報告する。
- 7. クラブ討論会(クラブ・フォーラム, Club Forum)**
会員のロータリー知識の啓蒙及びその研究の為、四大奉仕部門の中から問題点を提議して、クラブ・フォーラムを再三開催し、充実したクラブ運営を行なう。
- 8. 家庭集会(IDM, Informal Discussion Meeting)**
約4名~5名の単位で班を編成し、家庭炉辺で懇談し、クラブ運営について新旧会員膝を交えて自由に協議し、友情と親睦を図るとともに、会員の意見は十分に理事会に反映させる。
- 9. 委 員 会**
委員長は夫々委員会活動の目的達成の為再三委員会を開催し、協議すべきである。又、委員長は相関連する他の委員会(委員長)と連携し協力し相互にその活動を活性化すべきである。
- 10. ロータリー財団及び財団法人ロータリー米山記念奨学会**
当クラブは、40年目を迎え、友情に満ちたクラブ運営とともにロータリー財団や米山記念奨学会への目標を達成出来るよう関心を深めてゆく。

(1) ロータリー財団寄付達成額 (2006年6月末現在 \$136,965.16)

① ポール・ハリス・フェロー (Paul Harris Fellow、 PHF)

安田 寛氏 (1975~1976年度、ロータリー財団生)、

木村オセキ様 (安田氏ご親戚)

岡崎 春雄(元)	真鍋 良金(元)	岩野 二郎(元)
八木下 和郎(元)	岩崎 静馬(元)	国武 元記(元)
園田 裕孝(元)	橋本 勝之(元)	樋口 寿郎(元)
菊竹 保平(元)	徳永 晃久(元)	沼田 正行(元)
属 将夫(元)	貫 豊輝(元)	古田 剛(元)
榊原 剛(元)	山本 政昭(元)	土岐 弘毅(元)
阿部 博明(元)	高田 寿美(元)	山崎 晋良(元)
村田 充(元)	岡本 辰美(元)	伊東 民次郎(元)
石田 良夫(元)	鍋島 康夫(元)	谷 良樹(元)

村上 俊明	中村 一生	是此田 穰
永田 豊作	末吉 楠雄	神尾 栄一
有蘭 秀昭	舟木 義治	福原 勝巳
稲富 靖彦	菅本 国博	安武 真哉
伊豆 統一郎	桑園 富士夫	岩崎 員久
菱岡 紀代志	小嶋 一碩	田代 喜久夫
大林 清幸	岸野 玲	菅原 康夫
福原 弘之	佐藤 進	

② マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (Multiple Paul Harris F)

安田 寛氏、木村 オセキ様、井上 俊司、属 将之

③ ベネファクター (Benefactor)

井上 俊司	村上 俊明	是此田 穰
菅本 国博		

④ ポール・ハリス準フェロー (Paul Harris Sustaining Member)

安川 寛(元)	秋吉 三郎(元)	吉田 笹記(元)
加瀬 康作(元)	永野 義恒(元)	本松 光次郎(元)
田中 裕昌(元)		

湯野 英輔



⑤ メモリアル・コントリビューター (Memorial Contributor)

諸永光雄	大庭九一郎	高嶋守義
大貝賢	菊竹保平	岩野二郎
古田剛	山本政昭	末松茂実
貫豊輝	井上靖子様 (井上俊司君より)	
岩崎静馬 (岩崎員久君より)	阿部博明 (阿部トヨ子様より)	
属貞子様 (属将之君より)		

(2) 米山記念奨学会寄付達成額 (2006年6月末現在 ¥17,499,100)

① 米山功労者・マルチプル (第3回目)

真鍋良金(元)	徳永晃久(元)	永野義恒(元)
古田剛(元)	小田博(元)	伊東民次郎(元)
高田寿美(元)	山崎晋良(元)	石田良夫(元)
森永忠芳(元)		

村上俊明	神尾栄一	伊豆統一郎
是此田穰	石島靖之	井上俊司
小嶋一碩	猪狩功司	荒井俊勝
大林清幸		

② 米山功労者 (第1回)

阿部トヨ子様	稲富靖彦	中村一生
舟木義治	藤原浩芳	池田勝久
属将之	有菌秀昭	中山一徳
福原弘之		

③ 準米山功労者

岩野二郎(元)	都合一雄(元)	八木下和郎(元)
樋口寿郎(元)	山本政昭(元)	土岐弘毅(元)
益吉英俊(元)	阿部博明(元)	青木博志(元)
村田充(元)	岡本辰美(元)	鍋島康夫(元)

佐藤進	福原勝巳	菅本国博
田代喜久夫	波多野正信	吉田総次郎
岩崎員久		

④ 米山功労法人者

(株) スーパー大栄	代表取締役	本松光次郎(元)
北九州日産モーター(株)	代表取締役	菊竹保平(元)
(株) ナベシマ	代表取締役	鍋島康夫(元)

The 40th anniversary
YAHATA WEST ROTARY CLUB



会員名簿



赤田 隆一

アカタ リュウイチ

酒類販売
赤田酒類販売(株)
常務取締役
〒805-0069 八幡東区前田2-1-18
TEL 671-1334 FAX 681-1334
昭和38年7月5日生
平成16年2月入会

入会して3年になります。40周年を迎える本年、幹事を務めさせて頂いています。このクラブのメンバーの皆さんの絆・友情に感銘を受けています。これからも参加し続けて、先輩の皆さんから、多くのことを学ばせて頂きたいと思ひます。



阿部 竜哉

アベ タツヤ

不動産取引
エステート芳賀 (株)芳賀 黒崎支店
支店長
〒806-0021 八幡西区黒崎2-10-1
TEL 631-1555 FAX 631-1556
昭和39年4月30日生
平成18年7月入会

八幡西RC40周年おめでとうございます。40周年の節目に入会させて頂きましたことを光栄に思ひます。50周年に向けて勉強させて頂きます。



荒井 俊勝

アライ トシカツ

漆器販売
あらい(有)
代表取締役社長
〒807-1305 鞍手郡鞍手町大字新延1504
TEL 0949-42-0323 FAX 0949-42-5842
昭和32年1月30日生
平成2年1月入会

平成2年1月より八幡西RCに入会し早いもので16~17年が過ぎました。その間30周年があり、今度は40周年です。30周年の時は何も解らずに勢だけで参加した感じでしたが、今回は座談会にも参加させて頂き、改めてロータリーとは何かを考えさせられました。多種多様な方々が集まるこの会で、色々な思いを寄せてロータリーライフを楽しんでいることが、10年前とは違った感覚で感じとれました。一緒にこの40周年を迎えたかった伊東さんをはじめとする多くの先輩達が世界されたのが残念ですが、これからは数多くの先輩達が築かれた八幡西RCの伝統を引き継いでいかなければいけないなあと思うこの頃です。



安東 秀夫

アンドウ ヒデオ

建築設計
安東建築設計事務所
所長
〒806-0049 八幡西区穴生2-14-14
TEL 641-9177 FAX 621-2282
昭和22年2月27日生
平成6年2月入会

30周年からもう10年、早いものです。先輩の方々のお姿が思い出され、懐かしく思ひます。入会して早や12年を過ぎましたが、ロータリーの経験を大切に、これからも努力したいと思ひます。皆様、ご指導宜しくお願い致します。



猪狩 功司

イガリ コウジ

コンビニエンス、ストアー
(有)猪狩商店
代表取締役社長
〒807-0803 八幡西区千代ヶ崎2-1-11
TEL 602-0575 FAX 602-0716
昭和17年11月16日生
平成8年11月入会

40周年おめでとうございます。当クラブに入会して二度目の記念事業を経験することが出来、大変嬉しく思います。会員との交流を通して見聞を広め、より高い視野に立って、物事を見つめることが出来るように研鑽をつんでいきたいと思ひます。



池田 勝久

イケダ カツヒサ

スイミング・クラブ
(有)ベストスイミング・クラブ
代表取締役
〒807-0831 八幡西区則松5-11-15
TEL 601-1171 FAX 601-6305
昭和18年7月28日生
平成7年10月入会

八幡西RC40周年おめでとうございます。入会して11年になりました。先輩諸氏が築かれた40周年の歴史を今後受け継ぎ、八幡西ロータリーの発展の為、一生懸命頑張りたいと思ひます。これからも宜しくお願ひ致します。

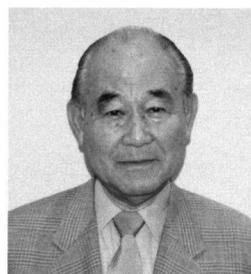


諫山 了二

イサヤマ リョウジ

歯科医
いさやま歯科医院
院長
〒807-0074 八幡西区町上津役西1-3-10
TEL 612-8050 FAX 612-8050
昭和32年2月22日生
平成17年1月入会

40周年おめでとうございます。私は入会して2年目で、やっと皆様の顔と名前が一致するようになり、又、例会の出席にも少しずつ慣れてきました。人と人との出会いが自分を成長させて頂いていることに感謝します。



石島 靖之

イシジマ ヤスシ

土地家屋調査士
石島調査士合同事務所
代表者
〒807-0825 八幡西区折尾1-8-3
TEL 602-1112 FAX 691-0550
昭和7年6月9日生
平成2年9月入会

前回のコメントから10年。私の在籍年数は16年に延びました。当クラブの歴史が40年ですので、16/40となり、30周年時の5分の1から4分の1へと無限の1/1に迫っています。だけど、気力・体力・頭脳力が落ちました。



伊豆 統一郎

イズ トウイチロウ

皮膚科医
伊豆皮膚科医院
院長
〒806-0021 八幡西区黒崎2-7-7
TEL 641-1000 FAX 642-3350
昭和9年7月5日生
昭和50年4月入会

昭和50年4月に入会させて頂いて今年で32年になる。以来多くの友人知己に恵まれた。クラブライフは多くの楽しい思い出がある。これからは若い会員諸氏に活を入れて頂いて、クラブライフをより充実したものにしたい。



稲富 靖彦

イナトミ ヤスヒコ

プレス加工
(株)稲富プレス工業所
代表取締役社長
〒808-0103 若松区南二島2-5-13
TEL 791-1812 FAX 791-0931
昭和29年10月9日生
昭和60年1月入会

八幡西RCに入会して20周年、30周年と年月を重ね、今年40周年を迎えました。ロータリーライフを会員皆様と共に十分に楽しんでいます。入会後に結婚しましたので、家内より2週間ロータリーの方が付き合いが長い私です。今後も健康で楽しく、会員の皆様とロータリー活動を過ごしたいと思います。



井上 俊司

イノウエ シュンジ

産婦人科医
井上産婦人科クリニック
院長
〒806-0021 八幡西区黒崎1-3-4
TEL 621-5608 FAX 621-7456
昭和13年3月19日生
昭和55年1月入会

RCに入会して26年が過ぎました。いつまで経っても入会した時と同じで、余りにも成長していない自分に失望を禁じ得ません。

今まで経験した20周年、30周年の感動と達成感を是非40周年でも得たいものです。



岩崎 員久

イワサキ カズヒサ

金属焼付塗装
研塗工業(株)
代表取締役
〒807-1262 八幡西区野面2438
TEL 617-4672 FAX 618-0094
昭和33年1月24日生
平成8年2月入会

30周年の時は右も左もわからなかった。あれから10年、少しはロータリーのことわかるようになってきた。これから10年、50周年まで何をして過ごしていこうか。



江戸 達也

エド タツヤ

自動車整備
 (株)尾倉モータース
 代表取締役
 〒805-0061 八幡東区西本町1-5-19
 TEL 661-6500 FAX 661-6502
 昭和28年11月9日生
 平成1年8月入会

ロータリーに入会して17年経ちました。私の性格からするとすぐやめると思っていました。が、今では例会で皆様と話をするのが大変楽しく感じています。今後も言いたい事を言い、出来る事をやるといった精神で過ごす事と思います。どうぞロータリーの寛容の精神でお見守り下さい。



太田 信博

オオタ ノブヒロ

料亭経営
 (有)古仙
 代表取締役
 〒806-0021 八幡西区黒崎5-4-24
 TEL 621-5000 FAX 621-2007
 昭和41年1月23日生
 平成14年2月入会

社長就任と同時に神尾先生に声を掛けて頂き、入会しまして早や5年と少々、未だに右も左もわからないまま。しかし、毎週金曜日の千草通いがクセになっている今日この頃です。40周年の節目に参加出来嬉しく思います。これを機会に、これからも益々ロータリーライフを楽しみたいと思います。



大林 清幸

オオバヤシ キヨユキ

獣医
 折尾動物病院
 院長
 〒807-0803 八幡西区千代ヶ崎1-15-9
 TEL 601-0977 FAX 601-0088
 昭和24年9月27日生
 昭和60年1月入会

当クラブに33歳で入会し、早いもので57歳になりました。その間、社会、人生、遊心、多くの事を学ばせて頂きました。何よりも、多くの素晴らしい友人を得た事が一番の様な気がします。もし、当クラブに入会していなければと考えるとゾッとします。これからもロータリーライフを良き友とエンジョイしていきたいと思っております。



緒方 忠

オガタ マコト

総合建設
 (株)緒方組
 常務取締役
 〒807-1152 八幡西区高江2-8-10
 TEL 617-1519 FAX 617-9197
 昭和39年6月16日生
 平成17年10月入会

創立40周年おめでとうございます。昨年10月、41才で入会を許されました。入会1年、様々な事を勉強させて頂きました。又、ロータリーを通じて出会った方々が今後の私の財産になろうかと思えます。これからもロータリーの精神を胸にとどめ頑張りたいと思えます。ご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。



小田 敬介

オダ ケイスケ

オフセット印刷
 北九州印刷(株)
 代表取締役社長
 〒806-0049 八幡西区穴生4-8-1
 TEL 631-0326 FAX 631-0395
 昭和33年10月25日生
 平成11年7月入会

以前、春や秋は山登り、夏はキャンプ、冬はスキーや温泉などと、家族で行動することが大半であったが、最近では子供達も大きくなり、気付くと妻にも相手にされず、ひとりでジョギングをする日が多くなったこの頃です。



乙木 信介

オトギ シンスケ

パン製造
 ドンバル堂(有)
 代表取締役社長
 〒803-0842 小倉北区泉台1-7-3
 TEL 651-8120 FAX 651-8119
 昭和34年10月24日生
 平成11年8月入会

八幡西RC40周年おめでとうございます。ロータリーのお陰で色々な方とお付き合いさせて頂き感謝しております。今後とも「四ツのテスト」を心に刻み、仕事に、生活に臨みたいと思えます。



神尾 栄一

カミオ エイチ

公認会計士
 神尾公認会計士事務所
 所長
 〒806-0051 八幡西区東鳴水4-10-20
 TEL 641-0234 FAX 622-3345
 昭和8年8月25日生
 昭和53年5月入会

創立40周年を迎え、歴史とその重みを考えます。とても良いクラブに在籍させて頂き感謝しています。奉仕と融和、ロータリーの心を忘れないように、これからも頑張っていきます。八幡西RCを誇りに思っています。発展を心から願っています。



菊池 裕

キクチ ユタカ

総合病院
 (財)厚生年金事業振興会 九州厚生年金病院
 院長
 〒806-8501 八幡西区岸の浦1-8-1
 TEL 641-5111(代) FAX 642-1868
 昭和14年9月30日生
 平成17年11月入会

ひよんなきっかけからRCに加入させて頂き早や1年。出席率の話が出る度にドキンと不整脈が出るような気がしています。雑用に追われる毎日では、「奉仕の心」を持って本職に精励する以外のことは出来そうにもありません。



岸野 玲
キシノ アキマ

構造物試験計測
西日本金属検査(株)
代表取締役社長
〒807-0821 八幡西区陣原4-18-3
TEL 691-0610 FAX 602-0893
昭和35年2月20日生
平成9年1月入会

八幡西RCに入会して10年になります。10年前に比べると中年になり、若さは失われたかもしれませんが、ロータリーの友人はたくさん増えました。今後ともロータリーを通じて“奉仕の精神”を勉強していきたいと思えます。



小嶋 一碩
コジマ カズヒロ

ホテル
(株)千草
代表取締役社長
〒805-0061 八幡東区西本町1-1-1
TEL 671-1131 FAX 661-3155
昭和18年6月13日生
平成5年7月入会

老・壮・(青)世代間の垣根が感じられない素晴らしい(珍しい)クラブの会員であることに喜びを感じています。こうした良き伝統を作られた今は亡き諸先輩会員のお顔が、40周年という節目に殊のほか思い起こされます。



是此田 穰
コレコダ ミノル

内科医
是此田内科医院
院長
〒807-0821 八幡西区陣原4-6-16
TEL 691-0416 FAX 691-0293
昭和8年10月22日生
昭和56年10月入会

八幡西RCに入会して3度目の周年行事を迎えました。仲間に入れて頂いて多くの友人が出来、その皆さんがそれぞれに「キラッ」と輝きの部分を必ず持っておられることに驚きを感じております。八幡西RC万歳!!



斉藤 利美
サイトウ トシミ

染織工芸
(有)さいとう工芸
代表取締役社長
〒802-0062 小倉北区片野新町2-4-18
TEL 931-7007(代) FAX 931-7007
昭和23年3月6日生
昭和60年1月入会

このクラブに入会して20年以上、それなりに過ごしています。



坂本 敏弘
サカモト トシヒロ

非破壊検査
計測検査(株)
副社長
〒807-0821 八幡西区陣原1-8-3
TEL 642-8231 FAX 641-2010
昭和36年3月9日生
平成17年3月入会

40周年おめでとうございます。入会して1年6ヶ月を過ぎようとしていますが、まだまだわからない事ばかりなので勉強させて頂いています。今後とも皆さんのご指導を宜しくお願い致します。



属 将之
サッカ マサユキ

非破壊検査
日本電測機(株)
社長
〒807-0803 八幡西区千代ヶ崎1-13-20
TEL 603-9377 FAX 603-9381
昭和11年1月10日生
平成4年11月入会

ロータリーライフ早や13年。入会后暫くは100%出席の恐怖もあり、よく退会を考えていた。年長組になった現在、各界のリーダーに親しく付き合っており、特に若い人達と共に話し、共にプレー出来ることに、何よりも感謝しています。



佐藤 進
サトウ ススム

弁護士
佐藤法律事務所
弁護士
〒803-0815 小倉北区原町1-4-24
TEL 592-1550 FAX 592-1524
昭和24年7月18日生
昭和60年11月入会

30周年記念誌には「ゴルフにこり、囲碁にこり、アウトドアキャンプにこり、さて10年後には何をしていますことやら」と書きました。そして10年後の現在、ゴルフ、囲碁、キャンプはすっかりご無沙汰しています。現在の趣味は、レコードによるジャズ鑑賞。さて、八幡西ロータリー50周年になる10年後には何をしていますことやら。



佐藤 信茂
サトウ ノブシゲ

心理学教授
産業医科大学
名誉教授(医療技術短期大学)
〒807-8555 八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL 603-1611(代)
昭和5年10月6日生
平成3年2月入会

「北九州いのちの電話」も30周年を迎えます。10年先輩の八幡西RCからより一層のご支援を頂ければ幸いです。私の美術コレクション歴も20周年を越えますので、より充実したコレクション展を開きたいと思っています。



野口 和博
ノグチ カズヒロ

冠婚業
(株)サニーライフ アートクレフクラブ
常務取締役
〒807-0822 八幡西区瀬板2-4-7
TEL 691-0101 FAX 691-0177
昭和26年1月6日生
平成17年7月入会

八幡西RC40周年おめでとうございます。私もこのクラブに入会して2年目になりました。いろいろな出合いを大切に、会員としての自覚を高めていきたいと思えます。宜しくお願い致します。



波多野 正信
ハタノ マサノブ

神道
宗教法人・一宮神社
宮司
〒806-0030 八幡西区山寺町12-30
TEL 641-2865 FAX 641-2865
昭和34年5月19日生
昭和61年11月入会

「ロータリーに入って」
・20年歳をとった。女房も老けた。
・体重10kg増えた。女房も体重増えた。成人病に注意。
・3人の子供は口を聞いてくれない。加齢臭に注意。
・良きにつけ、悪きにつけ友人が増えた。午前様に注意。
ロータリーに入っていなかったらどんな人生だったんだろう。



浜崎 靖
ハマサキ ヤスシ

外科医
浜崎病院
院長
〒807-0082 八幡西区小嶺台1-1-5
TEL 613-1919 FAX 613-1929
昭和13年3月8日生
平成1年9月入会

入会10数年、色々の委員会活動を経験しました。現在は社会奉仕委員会に所属、40年間の諸先輩による社会奉仕活動に改めて感激。綱領に基づく奉仕の精神が身に付くには未だ道のり長し。



福原 勝巳
フクハラ カツミ

建築材料配布
(株)福木
専務取締役
〒806-0049 八幡西区穴生3-7-19
TEL 645-8585 FAX 645-8588
昭和24年6月18日生
平成3年11月入会

入会以来10?年。100%出席無しの私です。趣味は競馬、マージャン etc.…。ちょい悪るオヤジを目指して頑張っています。ロータリーは私にとって仕事を離れて自分を取り戻せるオアシスのような場所です。今後も楽しく充実ロータリーライフを会員の皆様と共に過ごしたいと思えます。



福原 弘之
フクハラ ヒロユキ

私立学校
学校法人 福原学園
法人事務局 理事長
〒807-8586 八幡西区自由ヶ丘1-1
TEL 693-3273 FAX 691-8438
昭和16年3月8日生
平成14年3月入会

八幡西RCに入会して4年程経ちました。皆様にお世話になり、本当に有難く思います。あと10年頑張っていて、50周年にも参加したいと思えます。



藤村 克成
フジムラ カツナリ

歯科医
藤村歯科医院
院長
〒806-0055 八幡西区幸神3-11-65
TEL 631-2902 FAX 631-2902
昭和19年2月19日生
平成6年1月入会

40周年おめでとうございます。八幡西RCの40年という節目の年に、先輩の皆様のご努力とその歴史の重みを厳粛に感じ、当クラブが着実に歴史の歩み続けることを願います。



藤原 浩芳
フジワラ ヒロヨシ

事務用品製造
〒806-0051 八幡西区東鳴水4-2-7
TEL 631-8538 FAX 631-8538
昭和10年1月28日生
平成8年8月入会

八幡西RCに入会して10年。幸にして30周年と40周年のお祝いに参加出来ました。更に50年に向かって素晴らしい八幡西RCの船出を心より期待しています。



舟木 義治
フナキ ヨシハル

建築材料
新日本ホームズ(株)
代表取締役
〒807-0825 八幡西区折尾3-3-22
TEL 695-2033 FAX 695-2034
昭和14年2月7日生
昭和50年1月入会

20周年の記念行事の一つとして防人の歌を石碑にして岡田宮に納めた。その文字を当時会員だった書道家、栗原瑞雲氏(故人)が和紙に書いて、その紙を石碑に貼って刻んだ。瑞雲氏はその字を見て「ちょっと異うんだよな」と言った、が、まんざらでもなさそうだった。



安武 真哉
ヤスタケ シンヤ

仏教
浄土真宗 妙法寺
住職
〒807-0831 八幡西区則松1-9-3
TEL 691-2415 FAX 603-8948
昭和16年3月24日生
昭和64年1月入会

八幡西RCは不思議な魅力を持っていて、暖かい温もりのあるクラブです。例会の出席には毎回慌だしく駆け付けますが、帰る時の爽やかさが何ともいえません。今後とも宜しくお願い致します。



湯野 英輔
ユノ エイスケ

和食割烹
(術)すし金
代表者
〒806-0021 八幡西区黒崎1-8-7-1F
TEL 641-8822 FAX 641-8822
昭和18年6月5日生
平成5年2月入会

創立40周年おめでとうございます。在籍期間中に30周年、40周年と二度も周年記念を迎えられて大変幸せに思っています。今後更に45周年～50周年へと更なる発展と、八幡西クラブよりガバナー誕生を実現出来るよう祈っています。



吉田 総次郎
ヨシダ ソウジロウ

火災保険
(術)吉田保険
代表取締役社長
〒807-0857 八幡西区北筑2-9-23
TEL 695-0111 FAX 695-0601
昭和30年6月10日生
平成3年8月入会

愚痴を言わない。ぼやかない。うれしい時も悲しい時も苦しい時も先ず一歩足を前に出して受けとめる。まっすぐ受けとめる。そして行動する。出来るだけ明るい気持ちで大切にする。楽しい時は思いきり楽しいと思うようにする。つらい時や苦しい時は何とかなる、必ず何とかなるんだと思うようにする。これが私のモットーです。



事務局 〒805-0061
北九州市八幡東区西本町1-1-1 千草ホテル内
TEL (093) 681-0694 FAX (093) 681-0984
E-mail rc-yahatanishi2700@themis.ocn.ne.jp

例会場 千草ホテル TEL (093) 671-1131
例会日 金曜日 (12:30～13:30)

物 故 会 員

御冥福をお祈り申し上げます。

創立(1967年6月)から1997年6月

桑原 英雄 君 1974年11月27日ご逝去
 舟木 軍一 君 1976年6月1日ご逝去
 宮原 林 君 1980年2月17日ご逝去
 真鍋 良金 君 1980年5月1日ご逝去
 吉田 邦一 君 1980年5月9日ご逝去
 属 将夫 君 1980年6月30日ご逝去
 亀石 敏夫 君 1983年4月1日ご逝去
 諸永 光雄 君 1985年3月4日ご逝去
 橋本 勝之 君 1985年9月12日ご逝去

大庭九一郎 君 1986年3月22日ご逝去
 栗原 瑞雲 君 1989年5月10日ご逝去
 大貝 賢 君 1990年7月7日ご逝去
 菊竹 保平 君 1991年9月12日ご逝去
 岩野 二郎 君 1994年1月1日ご逝去
 古田 剛 君 1995年8月30日ご逝去
 貫 豊輝 君 1995年11月28日ご逝去
 樋口 寿郎 君 1996年7月25日ご逝去
 末松 茂実 君 1996年8月8日ご逝去

1997年7月から2007年3月





退 会 会 員

氏 名	退会年月日	氏 名	退会年月日
岩 田 正 昭	1970. 10. 23	土 岐 弘 毅	1976. 3. 19
岩 城 義 郎	10. 31	森 本 純 司	3. 26
早 崎 喜一郎	10. 31	加 藤 実	4. 16
長 野 義 夫	1971. 1. 8	甲 斐 英 憲	6. 1
石 松 勇	1. 8	田 中 義 文	6. 1
江 連 光	1. 22	中 野 良 馨	8. 6
高 橋 健二郎	1. 22	塚 原 俊 雄	10. 15
梶 井 有 来	2. 28	内 田 八 郎	12. 30
徳 田 三 郎	2. 28	藤 村 光 俊	1977. 1. 7
八木下 俊 三	11. 30	波多野 直 人	〃
樺 山 時 義	1972. 1. 31	原 田 利 美	〃
長 沢 正 二	4. 1	桑 原 孝	〃
井 上 博 厚	4. 20	片 村 英 輔	〃
安 部 六 郎	4. 28	片 岸 修 次	〃
早 間 一 雄	6. 30	黒 木 公 男	〃
谷 水 直 行	7. 14	小 島 卓	〃
山 口 憲 信	7. 28	貞 末 雄七郎	〃
三 原 博 征	11. 17	菅 原 了	〃
宇 原 征	12. 1	高 島 守 義	〃
金 染 博	1973. 3. 30	和 田 正 吉	〃
金 子 義 数	6. 8	善 明 靖 雄	〃
田 中 義 道	6. 8	中 村 武 文	〃
片 岸 修 次	6. 22	小 野 晃	〃
岡 本 辰 美	6. 30	原 田 正 義	〃
末 松 俊 夫	12. 28	西 村 秀 夫	1977. 2. 1
福 田 直 昌	12. 28	徳 井 義 弘	3. 1
隈 井 寛 博	1974. 2. 1	末 益 友之助	5. 1
新 城 博	5. 10	柴 田 健 一	6. 30
森 重 威	6. 14	下 田 清 司	6. 30
原 田 幸 紀	7. 5	三 好 秀 夫	12. 31
古 藤 忠 義	10. 4	引 地 伸 尚	12. 31
森 茂 敏	1975. 1. 5	望 月 康一郎	12. 31
三 宅 央 純	1. 5	吉 田 笹 記	12. 31
関 口 昇	2. 28	安 藤 道 男	1978. 2. 17
田 代 芳 鉄	6. 27	糸 田 貞 男	3. 17
塚 本 俊 明	7. 4	桂 正 一	6. 9
岡 崎 春 雄	11. 14	花 田 紘 一	1979. 2. 28
野 口 訓 孝	12. 31	松 本 健 祐	3. 30
山 口 勇	12. 31	秋 吉 三 郎	6. 30
高 山 直 忠	1976. 2. 20	大 石 武 二	10. 1

(八幡南クラブへ移籍)

氏名	退会年月日	氏名	退会年月日
阿部明男	1979. 11. 30	行時博愛	1986. 8. 31
田中善一	12. 30	光永太一	7. 15
津上清七	12. 30	野末治美	10. 3
大前進	1980. 3. 14	長谷川矩誼	12. 31
中塚英男	6. 30	服部勝彦	1987. 3. 6
太田文三郎	6. 30	藤永隆	3. 31
原和彦	1981. 2. 28	加瀬康作	7. 1
守田大一郎	2. 28	村富芳雄	12. 31
吉永齊	2. 28	仲野正敏	1988. 2. 5
稲井恒彦	4. 17	倉橋吉晴	2. 26
三木敬一郎	6. 30	河村洋	3. 31
矢野的男	6. 30	榊原剛	6. 30
古賀克己	8. 27	門脇登	1989. 2. 10
桜井正一	1982. 2. 28	池田正雄	5. 12
中島智満喜	3. 19	奥村勇也	6. 23
平川文朗	6. 30	矢野康典	10. 6
貞末吉助	11. 5	立山秀則	11. 24
宮本邦夫	1983. 7. 1	国武元記	12. 29
川本壮平	11. 4	岸野悟	1990. 2. 23
米倉功	12. 31	久保邦也	3. 23
小川清澄	12. 31	小川弘三	6. 22
木村吉秀	1984. 3. 2	菱岡紀代志	6. 29
後藤宏男	4. 6	山下英明	1991. 6. 28
川添暎夫	4. 30	建元哲郎	1992. 3. 30
高尾庄作	5. 31	田原貞光	6. 30
城健二	6. 30	岡崎道男	9. 30
梶原敬史	6. 30	青木和雄	12. 31
能美博明	6. 30	山路武彦	1993. 1. 29
貫増雄	6. 30	坂巻統彬	6. 30
加瀬康一	6. 30	福田寛治	6. 30
西本昭一	12. 28	三宅康雄	1994. 3. 18
米田稔	12. 28	安川直晴	3. 25
中俣博	1985. 3. 22	森井康	4. 8
久部貞男	3. 22	有村司	5. 6
大久保和夫	5. 23	水口鉄昭	6. 17
吉川裕徳	5. 23	平山亨	6. 30
安武真哉	6. 28	坂本一郎	1995. 1. 31
西原豊	6. 28	新田忠紀	2. 24
小山茂	12. 31	野島広雅	3. 24
大府国弘	12. 31	本松光次郎	6. 30
岩崎静馬	1986. 6. 13	武谷奎三	6. 30
山中秀夫	6. 30	藤瀬昭一	6. 30



氏名	退会年月日	氏名	退会年月日
藤原弘一	1995. 7. 31	青木博志	2002. 12. 13
村本照茂	12. 22	梶原敬史	12. 20
永野義恒	12. 30	荻田英俊	2003. 5. 30
関保美	12. 30	山中秀樹	6. 20
浜岡清二	1996. 1. 26	磯部道夫	6. 20
伊集院清人	3. 31	伊東民次郎	6. 20
土屋正孝	4. 30	小川清澄	6. 20
今林明弘	6. 30	田代義剛	2004. 7. 25
片岡映二	6. 30	田中裕昌	7. 25
田中隆一	6. 30	古野幸弘	7. 25
徳永晃久	6. 30	木村長生	7. 25
沼田正行	6. 30	石田良夫	12. 31
八木下和郎	7. 12	田中勇武	2005. 6. 3
山内進	1998. 2. 6	山下好之	6. 3
古澤洋一郎	4. 17	森永忠芳	11. 30
原田和紀	5. 1	中山勝彦	11. 30
瓜生昌昭	5. 8	諸岡則文	11. 30
福永義弘	6. 5	鍋島康夫	12. 31
西竹末治	10. 30	片岡洋一	2006. 5. 31
都合一雄	12. 25	谷良樹	6. 9
林紀男	1999. 3. 26	有蘭秀昭	6. 30
小田博	6. 4	高木昇	6. 30
園田裕孝	6. 30	桑園富士夫	6. 30
土岐弘毅	12. 31	永田豊作	11. 30
荒牧文昭	2000. 3. 31	菱岡紀代志	12. 31
相良武志	6. 30		
中村知樹	8. 31		
大谷忠晴	11. 10		
服部勝彦	11. 10		
伊東民次郎	12. 31		
古賀雄一	12. 31		
田中裕昌	12. 31		
益吉英利	2001. 3. 28		
小川誠一郎	5. 25		
野坂文雄	6. 1		
津上宏樹	6. 29		
安仲寛	6. 29		
城健二	12. 21		
橋本篤人	2002. 6. 14		
渡辺健	6. 21		
山崎晋良	6. 30		
村田充	12. 6		

八幡西ロータリークラブ

創立40周年 記念誌

編集後記

会員皆さんの御協力で創立40周年記念誌が発刊できました。井上実行委員長のもと記念誌委員会が7名で発足。伊豆・小田両委員に表紙をはじめ多くの写真を、浜崎委員には歴代会長の挨拶を、菅本・岩崎両委員には全会員のお祝いの言葉を、そして副委員長の藤村委員に素晴らしい座談会をそれぞれ分担して頂きました。

30周年記念誌で御苦労された石島会長から多くの御支援を頂きました。又、事務局の村上さんは適切な助言と資料の作成の協力をされました。尚、編集の企画から真摯に取り組まれた小田委員に感謝を申し上げます。

この記念誌が皆さんに読まれ、検討され、40年の伝統と歴史の中からさらに50周年に向かってのスタート台になればと願っています。編集をしながらそれぞれの会員の魅力と活力に力強さを感じました。この記念誌が皆さん一人一人の記念になることを願っています。

委員長 藤原 浩芳

記念誌委員

伊豆 統一郎 岩崎 員久 小田 敬介 菅本 国博
浜崎 靖 藤村 克成 藤原 浩芳

(50音順)

八幡西ロータリークラブ 創立40周年記念誌

発行 平成19年5月19日

八幡西ロータリークラブ

〒805-0061

北九州市八幡東区西本町1-1-1 千草ホテル内

TEL (093)681-0694 FAX (093)681-0984

E-mail rc-yahatanishi2700@themis.ocn.ne.jp

印刷 北九州印刷株式会社

〒806-0049

北九州市八幡八幡西区穴生4-8-1 TEL (093)631-0326

—表紙説明—

撮影：伊豆統一郎（八幡西RC会員）

【黒崎祇園】

黒崎祇園山笠は、400年の伝統を有する勇壮な夏祭りであり、福岡県の無形民俗文化財に指定されています。

八幡西ロータリークラブ

創立40周年記念

式典・祝宴

2007.5.19



原田光久ガバナー
(RI 2700 地区)



石島会長(八幡西 RC)



井上実行委員長
(八幡西 RC)



北橋市長(北九州市)



廣畑直前ガバナー
(RI 2700 地区)



受付風景

創立40周年記念

式典次第

司会 波多野正信

1. 開式点鐘 会長 石島 靖之
2. 開式の辞 実行委員長 井上 俊司
3. 国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 斉藤 利美
4. 来賓紹介 実行委員長 井上 俊司
5. 物故会員追悼 SAA 波多野正信
6. 会長挨拶 会長 石島 靖之
7. 来賓祝辞
RI 第2700地区ガバナー 原田 光久君
8. 記念事業紹介
 - ① 記念講演会開催
 - ② 「北九州風景街道」ホームページ制作
9. 北九州風景街道ホームページ贈呈
贈呈先
社団法人 北九州市観光協会会長 今浪 寅雄殿
10. 祝電披露 SAA 波多野正信
11. 閉式の辞 副会長 大林 清幸
12. 閉式点鐘 会長 石島 靖之

祝宴次第

司会 野口 和博

1. 開宴
2. 祝儀舞 観世流 「鶴亀」井上 俊司
3. 写真で振り返る八幡西ロータリークラブの10年
4. 乾杯 北九州市長 北橋 健治殿
5. 合唱 八幡西ロータリークラブ合唱団
6. エアロビクス 九州共立大学
7. バンド演奏
八幡西ロータリークラブおやじバンド
8. 閉宴 大林 清幸



記念講演委員会
菅原委員長 (八幡西 RC)



ホームページ委員会
小嶋委員長 (八幡西 RC)



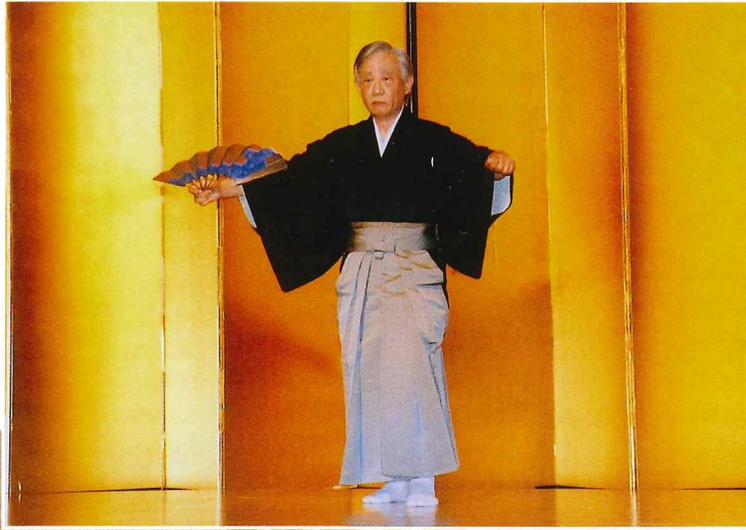
斉藤ソングリーダー (八幡西 RC)



「北九州風景街道」ホームページ贈呈式



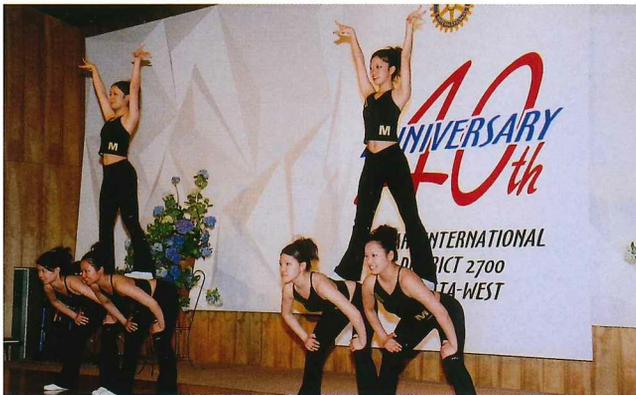
北九州市観光協会 会長 今浪寅雄氏



祝儀舞
観世流「鶴亀」
井上実行委員長
(八幡西 RC)



乾杯



エアロビクス (九州共立大)



八幡西ロータリークラブ おやじバンド



八幡西ロータリークラブ合唱団



北橋市長を囲んで



♪ 手に手つないで♪ つくる友の輪♪